

和歌山の水産

令和元年



和歌山県
農林水産部 水産局

本県水産業のあらまし

和歌山県は、我が国最大の半島である紀伊半島の西部に位置し、約 651 k mに及ぶリアス式海岸状の地形を有し、温暖な気候を利用して、水産業のほか農林業など一次産業を主体として栄えた地域です。

本県の海域は内海性の瀬戸内海と外洋性の太平洋に二分され、それぞれの海域特性に応じて各種漁業が営まれています。瀬戸内海海域では、タチウオやエビ類などを対象とした小型底びき網漁業、シラスやイカ類を対象とした機船船びき網漁業のほか、マダイやアジ類、サバ類を対象とした一本釣漁業等が営まれています。一方太平洋海域は、本州最南端の串本町沖合海域を流れる黒潮本流の離接岸に強い影響を受け、カツオやマグロ類を対象としたひき縄釣漁業、はえ縄漁業、イサキやマダイ、ブリ類等を対象とした一本釣漁業のほかアジ類やサバ類を対象としたまき網漁業、定置網漁業、棒受網漁業、イセエビや磯魚を対象とした刺網漁業等種々の漁業が営まれています。

内水面においては紀の川から熊野川まで豊かな清流に恵まれ、アユやアマゴ等の遊漁がおこなわれており、毎年県内外から多くの釣客が訪れています。また、紀の川、有田川、日高川及び富田川周辺地区では、これらの清流の伏流水を利用してアユ等の養殖業が営まれています。

近年の水産業は全国的に厳しい状況にありますが、本県においては、令和8年度を目標とする「和歌山県長期総合計画」を平成29年度に策定し、水産関係では「時代の変化に対応できる収益性の高い水産業」の実現に向け、各種施策を推進しています。

具体的には、公的規制と漁業者による自主的な取組の双方を組み合わせた資源管理やヒラメ、アワビ等の種苗放流、藻場回復等の磯根漁場の再生等による「資源管理対策の推進」、漁業複合経営グループの創出支援や、産地市場の拠点化支援等による「収益性の向上に向けた経営構造改革」、漁村の豊かな観光資源を活かしたブルーツーリズムによる「経営の多角化」を推進しているほか、次代につなぐ漁村づくり支援による「担い手の確保・育成」に取り組んでいます。

小誌は本県の水産業の現状を紹介したもので、水産関係者をはじめ各方面の方々にご活用頂ければ幸いに存じます。

[資料]

平成29年漁業・養殖業生産統計年報

2013漁業センサス

農林水産部水産局業務資料

県土整備部港湾空港局港湾漁港整備課業務資料

[表中に使用した符号]

―は、事実のないもの

χは、秘密保護のため統計数値を公表しないもの

…は、事実不詳又は調査を欠くもの

表紙写真 平成30年10月に開始した和歌浦片男波干潟のカキ養殖場とカキ(和歌浦漁業協同組合)

目 次

I	和歌山県水産業の概要	
1	和歌山県漁業の全国に占める位置	1
(1)	漁業生産構造	1
(2)	生産量・産出額の占める割合	1
(3)	生産量・産出額の順位	2
2	漁業生産構造	3
(1)	漁業経営体	4
(2)	漁業世帯・漁業就業者	5
(3)	漁船	6
(4)	漁港	6
(5)	漁業権免許状況	6
(6)	漁業許可状況	7
3	漁業生産	9
(1)	漁業・養殖業部門別生産量	10
(2)	主要海面漁業・養殖業種類別生産量	10
(3)	海面漁業魚種別漁獲量	11
(4)	海面養殖業収獲量	16
(5)	内水面漁業・養殖業生産量	17
(6)	漁業産出額	18
4	水産加工	22
II	漁業振興施策	25
(1)	磯根漁場再生事業	26
(2)	漁業経営構造改善事業	27
(3)	水産基盤整備事業(漁場整備)	27
(4)	水産基盤整備事業等(漁港整備)	29
(5)	栽培漁業推進対策事業	30
(6)	内水面漁業振興対策事業	31
(7)	金融対策事業	32
(8)	プレミアム和歌山認定品	33
(9)	魚食普及・漁業体験交流活動	34
III	組織等	35
(1)	和歌山県水産行政機構	35
(2)	水産関係予算	36
(3)	水産団体	37

I 和歌山県水産業の概要

1 和歌山県漁業の全国に占める位置（平成29年）

海面及び内水面漁業の生産量は、平成28年に比べ3,236トン(13%)減少して22,514トンになり、全国29位であった。魚種別漁獲量で全国的に上位を占めている種類は、タチウオが685トンとなり全国の11%を占め2位、イセエビが125トンとなり全国の12%を占め3位に、また、ムロアジ類が1,420トンで全国の7%を占め7位になっている。また、海産ほ乳類は150トンと全国の27%を占め2位となっている。ほか、イサキ、チダイ・キダイが10位以内に入っている。養殖業の生産量ではクロマグロが945トンで全国の6%を占め5位、マダイが1,492トンで全国の2%を占め6位であった。また、内水面養殖アユは1,034トンで全国の20%を占め2位であった。

海面漁業の産出額は9億5,400万円(10%)減少して84億6,200万円で全国26位、海面養殖業の産出額は49億1,800万円です全国22位であった。海面漁業・養殖業の合計の産出額は133億8,000万円であり、全国30位であった。

(1) 漁業生産構造

項 目	単 位	和 歌 山 県 (A)	全 国 (B)	(A)／(B) %
漁 業 経 営 体	経営体	2,033	94,507	2.2
漁 業 就 業 者 数	人	2,907	180,985	1.6
自 営 漁 業 就 業 者 数	人	1,979	109,247	1.8
漁 業 雇 わ れ 就 業 者 数	人	928	71,738	1.3
使 用 漁 船 隻 数	隻	2,892	152,998	1.9

＊ 2013漁業センサスより

(2) 生産量・産出額の占める割合

(生産量：t 産出額：百万円)

項 目			和 歌 山 県 (A)	全 国 (B)	(A)／(B) %
生 産 量	海 面	漁 業	18,801	3,258,020	0.6
		養殖業	2,661	986,056	0.3
		小計	21,462	4,244,076	0.5
	内水面	漁 業	7	25,215	0.03
		養殖業	1,045	36,839	2.8
		小計	1,052	62,054	1.7
	合 計		22,514	4,306,130	0.5
産 出 額	海 面	漁 業	8,462	962,690	0.9
		養殖業*	4,918	497,926	1.0
	合 計		13,380	1,460,616	0.9
	(参考) 種苗*		1,917	27,081	7.1

＊ 平成29年漁業・養殖業生産統計(令和元年5月現在)より

＊ 捕鯨業を除く

＊ 平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないこととなったため、平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない。
また、種苗の産出額については参考値として掲載した。

(3) 生産量・産出額の順位

平成29年 漁業総生産量および海面漁業産出額の全国順位

(生産量：t 産出額：百万円)

順 位			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
項 目													
総生産量	海 面	合 計	北海道	長崎	宮城	静岡	青森	三重	愛媛	島根	千葉	鹿児島	32位 和歌山 21,462
		漁 業	北海道	長崎	茨城	静岡	宮城	三重	島根	千葉	青森	宮崎	28位 和歌山 18,801
		養殖業	広島	宮城	北海道	青森	兵庫	佐賀	愛媛	熊本	鹿児島	福岡	24位 和歌山 2,661
	内水面	漁 業	北海道	青森	島根	茨城	岩手	新潟	神奈川	宮城	東京	岡山	34位 和歌山 7
		養殖業	鹿児島	愛知	宮崎	静岡	長野	岐阜	福島	茨城	和歌山	山梨	9位 和歌山 1,045
			8,653	7,146	3,914	3,139	1,607	1,413	1,311	1,195	1,045	994	
産出額	海 面	合 計	北海道	長崎	愛媛	宮城	鹿児島	青森	静岡	三重	兵庫	高知	30位 和歌山 13,380
		漁 業	北海道	長崎	静岡	宮城	青森	岩手	三重	高知	兵庫	千葉	26位 和歌山 8,462
		養殖業	愛媛	鹿児島	熊本	長崎	北海道	佐賀	宮城	大分	兵庫	福岡	22位 和歌山 4,918
			61,357	53,006	38,125	37,807	30,923	28,227	25,618	23,814	22,552	22,252	

注：生産量のうち海面養殖業及び合計については茨城県・東京都が、内水面漁業については福井県・山梨県・滋賀県・鹿児島県が、内水面養殖業については大阪府・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。また、生産額のうち海面漁業及び海面養殖業については山形県・茨城県・東京都が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：生産量・産出額は共に都道府県の積み上げ値であり、捕鯨業は除く。

平成29年 全国10位以内に入る主な漁業種類

(単位：t)

区 分	全国値	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
近海まぐろ は え 縄	42,757	高 知	宮 城	宮 崎	沖 縄	大 分	三 重	和 歌 山			
		10,708	9,413	9,215	7,456	2,678	1,185	252			
ひき縄釣	12,724	高 知	沖 縄	長 崎	福 岡	宮 崎	兵 庫	三 重	和 歌 山	鹿児島	広 島
		3,462	1,785	1,440	858	820	586	531	480	404	394
中・小型 ま き 網	464,150	長 崎	島 根	三 重	宮 崎	鹿児島	愛 媛	千 葉	大 阪	大 分	和 歌 山
		108,721	101,209	70,473	37,079	31,887	19,066	19,009	14,480	11,032	8,187

平成29年 全国10位以内に入る主な魚種

(単位：t)

区 分	全国値	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
た ち う お	6,331	愛 媛	和歌山	大 分	広 島	長 崎	鹿児島	熊 本	徳 島	宮 崎	千 葉
		1,077	685	617	540	525	337	333	291	238	216
い せ え び	1,075	三 重	千 葉	和歌山	静 岡	徳 島	宮 崎	鹿児島	長 崎	高 知	神奈川
		258	177	125	112	83	59	52	48	37	29
むろあじ類	19,515	宮 崎	長 崎	鹿児島	愛 媛	高 知	兵 庫	和歌山	大 分	静 岡	三 重
		4,330	3,287	2,277	1,980	1,622	1,498	1,420	1,333	637	508
い さ き	3,796	長 崎	福 岡	山 口	三 重	島 根	静 岡	和歌山	大 分	愛 媛	千 葉
		1,260	429	326	233	230	205	165	155	128	115
ちだい・きだい	6,272	長 崎	島 根	山 口	福 岡	千 葉	鹿児島	石 川	和歌山	福 井	高 知
		2,414	858	657	424	224	196	168	154	153	129
海産ほ乳類	567	岩 手	和歌山	高 知	北海道	宮 城	長 崎	京 都	青 森	神奈川	千 葉
		159	150	29	26	24	18	18	16	13	10
養殖くろまぐろ	15,858	長 崎	鹿児島	高 知	三 重	和歌山	愛 媛	大 分			
		6,558	2,997	1,256	988	945	887	871			
養殖まだい	62,850	愛 媛	熊 本	高 知	三 重	長 崎	和歌山	鹿児島	宮 崎	静 岡	香 川
		34,767	10,186	5,196	3,621	2,566	1,492	1,371	955	855	558
内水面 養 殖 あ ゆ	5,053	愛 知	和歌山	岐 阜	滋 賀	栃 木	徳 島	宮 崎	静 岡	熊 本	大 分
		1,156	1,034	967	491	325	210	206	138	123	122

注：養殖まだいについては、千葉県・東京都・大阪府・兵庫県・山梨県・徳島県・福岡県・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：養殖くろまぐろについては、京都府・山梨県・熊本県・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：内水面養殖あゆについては、北海道・青森県・岩手県・宮城県・福島県・東京都・新潟県・富山県・福井県・京都府・兵庫県・奈良県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・愛媛県・高知県・福岡県・鹿児島県が秘密保護のため順位に含まれていない。

2 漁業生産構造

(1) 漁業経営体

平成25年の海面漁業経営体数は2,033経営体で、前回調査(平成20年(2008年漁業センサス))に比べて、480経営体(19%)減少した。経営組織別では、個人経営体は1,976経営体、団体経営体は57経営体で、前回調査に比べそれぞれ18%、48%減少した。

主とする漁業種類では、「釣」は990経営体(構成比49%)で最も多く、次いで「刺網」は411経営体(構成比20%)となっており、いずれも前回調査に比べ約20%減少している。また、減少率では、まき網(41%減少して10経営体)、まだい養殖(59%減少して11経営体)などが顕著である。まぐろ養殖では2経営体増加して4経営体となっている。

階層別では、動力漁船3トン未満階層が821経営体(構成比40%)、3～5トン階層が470経営体(構成比23%)であり、前回調査に比べそれぞれ25%、14%減少した。

10年間(平成15年と平成25年)の対比では、全体で1,005経営体(34%)減少している。

(2) 漁業就業者

平成25年の漁業就業者数は2,907人で、前回調査に比べ1,015人(26%)減少した。男子は889人(24%)減少して2,814人になった。60歳以上の男子漁業就業者は409人(20%)減少して1,613人になり、男子漁業就業者に占める構成比率は平成13年の63%をピークに減少しているが、依然として半数以上の57%であり、漁業者の減少及び高齢化を顕著に示している。

10年間(平成15年と平成25年)の対比では、1,761人(38%)減少している。

(3) 漁 船

登録動力漁船隻数は、漁業経営体数の減少に伴い、10年間(平成21年と30年の対比)に一本釣漁船が625隻(18%)、刺網が240隻(33%)、敷網が65隻(45%)、採介藻が36隻(24%)減少するなど、合計で1,303隻(23%)減少し、4,401隻になった。

平成29年末から平成30年末までの1年間では、一本釣が166隻(6%)、刺網が31隻(6%)減少するなど、全体として247隻(5%)減少している。

(4) 漁 港

県内の漁業地区に94漁港があり、その内訳は第4種漁港2港、第3種漁港4港、第2種漁港11港、第1種漁港77港である。

(5) 漁業権免許状況

海面には地先共同漁業権42件、つきいそ漁業権87件等の共同漁業権が135件、定置漁業権が11件、区画漁業権が135件、合計281件の漁業権が免許されている。

内水面には主にアユ、アマゴの第五種共同漁業権が10河川水系で23件が免許されている。

(6) 漁業許可状況

ア 知事許可漁業

小型機船底びき網漁業184件、機船船びき網漁業176件、敷網漁業230件、固定式刺網漁業640件等合計1,725件の漁業許可がされており、瀬戸内海区では底びき網漁業、船びき網漁業が、太平洋区では刺網漁業、敷網漁業が多い。

イ 大臣許可漁業

近海かつお・まぐろ漁業4件、小型捕鯨業2件、合計6件の許認可を受けているほか、沿岸まぐろはえ縄漁業が6件届出により操業している。

(1) 漁業経営体

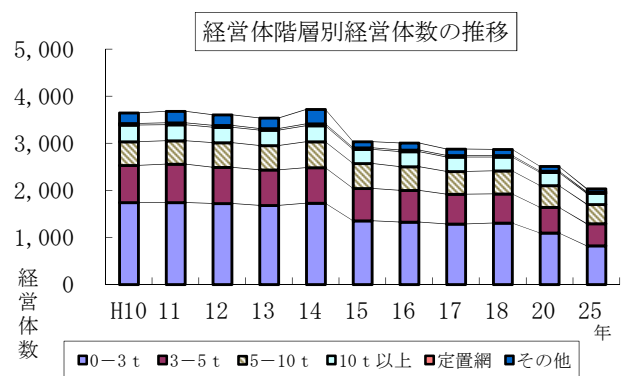
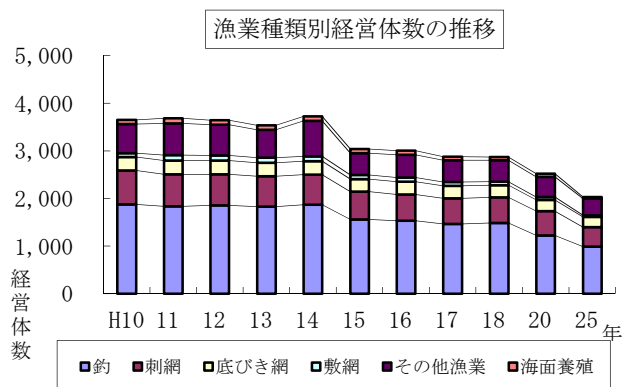
区分	年次	H10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	25
経営体階層別	漁船非使用	118	130	128	108	194	47	51	43	47	35	32
	無動力	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	動力	0-3トン	1,745	1,743	1,722	1,681	1,729	1,356	1,325	1,286	1,307	1,096
		3-5トン	786	818	788	755	752	689	679	630	620	547
		5-10トン	505	495	525	519	552	531	499	485	491	462
	船	10トン以上	355	339	324	324	344	294	320	309	292	279
	大型定置	6	8	8	9	9	9	9	9	8	8	6
	小型定置	29	31	31	29	29	24	24	25	24	20	20
	地びき網	17	13	7	16	18	6	12	15	11	—	—
	浅海養殖	89	103	93	96	94	82	87	77	69	65	37
経営組織別	計	3,651	3,680	3,626	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033
	個人経営	3,510	3,519	3,478	3,377	3,564	2,911	2,854	2,738	2,733	2,403	1,976
	漁業協同組合	9	5	7	9	9	8	9	8	8	4	4
	漁業生産組合	10	17	9	8	8	6	6	5	6	4	3
	共同経営	81	100	111	104	101	68	92	84	85	64	26
	会社経営	37	35	34	35	35	40	40	39	33	36	24
	その他	4	4	4	4	4	5	5	5	4	2	—
主要漁業種別	計	3,651	3,680	3,643	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033
	近海捕鯨	2	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2
	小型底びき網	288	291	287	283	282	265	269	262	252	236	210
	まき網	17	19	20	17	20	19	19	18	18	17	10
	刺網	708	672	654	637	632	581	549	536	540	514	411
	釣	1,877	1,834	1,853	1,827	1,867	1,562	1,535	1,468	1,486	1,223	990
	まぐろ延縄	45	43	35	37	39	27	30	26	23	19	15
	その他の延縄	61	40	47	44	45	44	44	42	46	50	45
	大型定置網	6	8	8	9	9	9	9	9	8	8	6
	小型定置網	29	31	31	29	29	24	24	25	24	20	20
	敷網	80	114	113	108	106	85	88	80	76	59	40
	地びき網	17	13	12	16	18	6	12	15	11	—	—
	船びき網	109	126	131	117	122	97	108	105	97	81	72
	採貝	207	275	243	218	258	165	165	150	150	178	138
	採藻	45	61	62	49	142	19	13	12	13	—	—
	その他漁業	70	49	48	48	56	51	52	52	54	42	37
	真珠養殖	3	3	3	3	3	2	2	1	1	1	—
	ぶり養殖	5	8	7	6	7	6	6	6	6	3	2
	まだい養殖	49	48	48	48	44	42	44	43	34	27	11
	のり類養殖	11	9	9	8	9	6	4	3	1	6	—
	わかめ類養殖	6	17	14	14	14	10	14	13	14	17	15
	その他養殖	16	18	16	17	17	16	17	11	13	11	9
	計	3,651	3,680	3,643	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033

※平成20年(2008年漁業センサス)以降、経営組織別のその他に官公庁・学校など試験研究機関は含まれていない

※平成20年(2008年漁業センサス)以降、敷網と地びき網はその他網漁業に含まれる

※平成19年以降の漁業経営体については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている

※平成14年のみ海上作業従事日数30日未満を含む

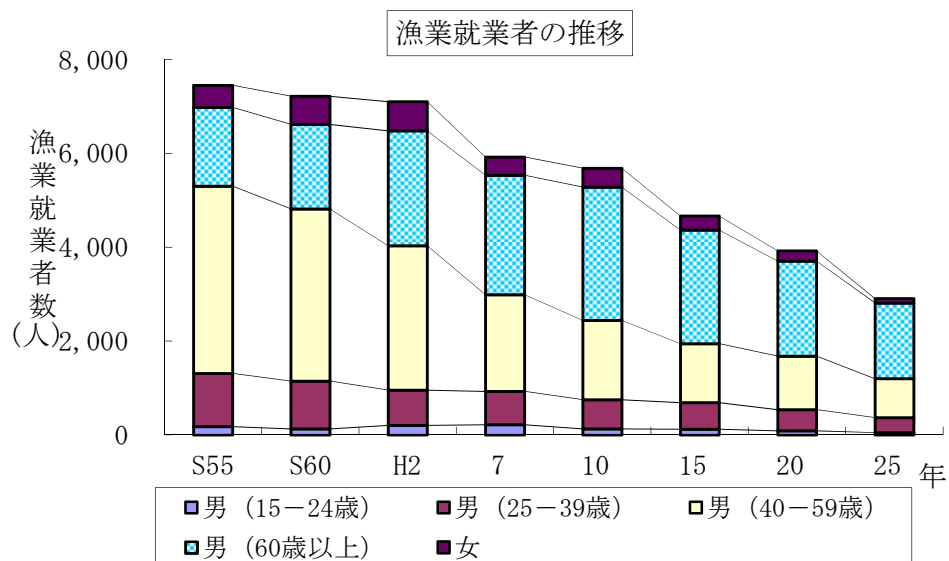


(2) 漁業世帯・漁業就業者

年次		S60	H2	7	10	11	12	13	14	15	20	25		
世帯数	個人漁業経営体		4,300	4,170	3,830	3,510	3,520	3,480	3,440	3,440	2,911			
	漁業従事者世帯		1,930	1,860	1,210	1,401	1,320	1,300	1,290	1,290	1,143			
	合 計		6,230	6,030	5,040	4,911	4,840	4,780	4,730	4,730	4,054			
世帯員数	男	14 歳 以 下	2,900	890	1,100	864	930	790	760	830	701	346	240	
		15 歳 以 上	9,310	6,510	7,230	6,868	6,730	6,810	6,790	6,660	5,512	3,364	2,739	
		小 計	11,300	7,400	8,330	7,732	7,660	7,600	7,550	7,490	6,213	3,710	2,979	
	女	14 歳 以 下	1,750	1,030	1,290	876	930	800	910	1,060	660	320	214	
		15 歳 以 上	9,320	6,280	6,920	6,691	6,560	6,650	6,530	6,330	5,110	3,403	2,349	
		小 計	11,070	7,310	8,200	7,567	7,490	7,450	7,440	7,390	5,770	3,364	2,563	
	合 計		22,370	14,710	16,530	15,299	15,150	15,020	14,960	14,880	11,983	7,113	5,542	
	漁業就業者数	男	15 - 24 歳	130	210	220	130	120	110	110	90	127	88	51
			25 - 39 歳	1,020	750	710	620	660	580	520	560	565	454	322
40 - 59 歳			3,670	3,070	2,060	1,693	1,450	1,310	1,280	1,350	1,251	1,139	828	
60歳以上			1,800	2,450	2,540	2,835	3,100	3,230	3,290	3,190	2,423	2,022	1,613	
(男に占める割合%)			(27.2)	(37.8)	(45.8)	(53.7)	(58.2)	(61.9)	(63.3)	(61.5)	(55.5)	(54.6)	(57.3)	
小 計			6,620	6,480	5,540	5,278	5,330	5,220	5,200	5,190	4,366	3,703	2,814	
女		600	620	390	404	360	360	320	310	302	219	93		
合 計		7,220	7,100	5,930	5,682	5,690	5,580	5,520	5,500	4,668	3,922	2,907		

※平成16年以降、世帯数の調査は実施されていない。

※平成16年以降の漁業就業者数については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。



(3) 漁 船（平成30年12月末現在）

ア 漁業種類別動力漁船隻数

区分	年次	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
採 介 藻		151	149	141	135	121	122	122	120	122	115
定 置 網		89	90	91	91	84	80	80	77	75	69
一 本 釣		3,452	3,443	3,385	3,328	3,312	3,229	3,166	3,085	2,993	2,827
は え な わ		15	15	15	13	14	14	14	12	12	10
刺 網		726	695	680	659	603	590	560	540	517	486
ま き 網		24	24	24	23	20	22	22	18	19	18
まき網附属船		75	68	66	62	60	56	57	58	54	57
敷 網		144	135	134	129	114	104	103	96	87	79
底 び き 網		260	259	255	250	237	232	201	186	185	180
ひ き 網		270	264	251	226	211	202	192	192	188	177
かつおまぐろ		18	17	16	15	14	13	12	6	6	6
捕 鯨		5	6	6	6	9	9	9	9	9	9
官 公 庁 船		39	37	37	38	44	45	48	49	48	50
運 搬 船		136	130	125	114	111	109	105	98	96	93
雑 漁 業		300	304	303	295	260	253	251	246	237	225
合 計		5,704	5,636	5,529	5,384	5,214	5,080	4,942	4,792	4,648	4,401

イ トン数階層別・機関種類別動力漁船隻数

区 分		年 次	H29	30
無 動 力			64	54
動 力 船	ト ン 数 階 層 別	0－3 t	2,938	2,739
		3－5 t	796	770
		5－10 t	695	675
		10－20 t	212	210
		20－30 t	0	0
		30－50 t	5	5
		50－100 t	1	1
		100 t 以上	1	1
		小 計	4,648	4,401
	機 関 種 類 別	ジーゼル	3,071	2,913
		電気点火	1,577	1,488
		小 計	4,648	4,401
合 計 隻 数		4,712	4,455	
合 計 ト ン 数		15,386	14,986	
合 計 馬 力 数		347,705	339,632	

(4) 漁 港（平成30年）

港種別漁港数

第 1 種	第 2 種	第 3 種	第 4 種	合 計
77	11	4	2	94

(5) 漁業権免許状況（平成31年3月末現在）

ア 海 面

種 類	共 同				定 置
内 容	地 先	つきいそ	飼 付	計	
件 数	42	87	6	135	11

種 類	特 定 区 画										合 計
内 容	わかめ	ひろめ	ひじき	ひおうぎ	あわび	かき	魚 類	くろまぐろ	あわび地蒔	計	
件 数	35	32	2	5	1	10	45	4	1	135	281

イ 内 水 面

第五種共同漁業権 23件（あゆ、あまご、こい、うなぎ、もくずがに）

(6) 漁業許可状況

ア 知事許可漁業

(平成31年4月1日現在)

海 区			瀬 戸 内 海 区					太 平 洋 区					計	
郡 市			和歌山市	海南市	有田市	有田郡	日 高 郡	御坊市	田辺市	西牟婁郡	新宮市	東牟婁郡		
漁業種類	瀬戸内海及び外海		48	6	104	18	3	—	—	—	—	—	179	
	外 海		—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	3	
	餌 び き		—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	
船	瀬 戸 内 海		16	10	40	42	4	—	—	—	—	—	112	
	外 海		—	—	—	—	—	6	—	16	—	4	26	
	さ よ り		4	12	—	16	—	—	—	6	—	—	38	
ま き 網	中 型	1 そ う	—	—	—	—	—	6	—	1	—	1	2	10
		2 そ う	—	—	—	—	2	—	2	4	—	—	—	8
	小 型	1 そ う	—	—	—	—	—	—	—	3	—	1	—	4
		2 そ う	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	こ の し ろ		4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
小 型 定 置 網			1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
ご ち 網			—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	6	
敷 網	さ ん ま		—	—	—	—	—	4	—	—	1	1	39	45
	あ じ ・ さ ば		—	—	—	—	—	77	9	6	6	—	87	185
い か 玉			4	3	—	4	21	2	—	—	—	—	34	
流し網（さんま）			—	—	—	—	—	—	—	—	1	9	10	
固 定 式 刺 網	磯 建		—	—	—	—	8	110	43	19	26	—	93	299
	え び 刺		—	—	—	—	29	—	—	—	25	—	113	167
	底 刺		—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	19	20
	磯 建 ・ 底 刺		—	—	—	—	—	—	—	—	25	—	—	25
	磯 建 ・ 建 網		—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	5
	えび刺・底刺		—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2
	えび刺・磯建		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	122	122
そ の 他 の 刺 網	磯 打		—	—	—	—	20	31	—	25	100	—	151	327
	このしろ・ぼら刺		—	—	—	19	—	—	5	—	—	—	—	24
	あ じ 囲 刺		—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	あおりいか刺		—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	4
い る か 突 棒			—	—	—	—	—	—	—	—	11	44	55	
鯨 類 追 込 網			—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	
さ ん ご			—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	
合 計			77	31	150	103	93	237	59	83	190	21	681	1725



刺網からのいせえび取り外し作業（串本町古座）

イ 大臣許可漁業等

(平成31年3月末現在)

市町名			由良町	みなべ町	田辺市	串本町	太地町	那智勝浦町	計	備 考
区分	遠 洋		—	—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	—	
	近 海	新近海	—	—	—	—	—	—	—	
		新小型	1	1	1	1	—	—	4	許可
		小 計	1	1	1	1	—	—	4	〃
	合 計		1	1	1	1	—	—	4	〃
	小型捕鯨業		—	—	—	—	2	—	2	〃
沿岸まぐろはえ縄漁業			1	2	1	1	—	1	6	届出

(参考)

漁業違反に対する指導・検挙実績及び漁船安全指導件数（ライフジャケット着用等）

年 度	法令指導	検 挙 (行政処分を含む)	安全指導	計
平成26年度	149	10	40	199
平成27年度	87	2	13	102
平成28年度	117	2	4	123
平成29年度	84	6	7	97
平成30年度	70	0	14	84



漁業取締船「はやぶさ」平成28年12月竣工
総トン数38トン 最大速力36.0ノット



漁業取締船「みさき」平成14年7月竣工
総トン数39トン 最大速力45.8ノット

3 漁業生産(平成29年)

(1) 漁業・養殖業生産量

平成29年の海面漁業・養殖業生産量は21,462トンで、前年に比べ3,230トン(13%)減少した。
 漁業種類別では海面養殖業で139トン(6%)増加した一方で、中・小型まき網で1,807トン(18%)、船
 びき網漁業で878トン(28%)、大型定置網で364トン(13%)減少したことなどによる。
 魚種別では、マアジが1,569トン(138%)増加した一方で、ムロアジ類が1,819トン(56%)、マイワシが
 1,591トン(76%)、シラスが885トン(28%)、タチウオが305トン(31%)減少したことなどによる。
 平成29年の内水面漁業・養殖業生産量は1,052トンで、前年に比べ6トン(1%)減少した。

単位：t				
項 目	平成29年	28年	対前年差	対前年増減率 %
漁 業 ・ 養 殖 業 合 計	22,514	25,750	△ 3,236	△ 12.6
海面漁業・養殖業計	21,462	24,692	△ 3,230	△ 13.1
海面漁業	18,801	22,170	△ 3,369	△ 15.2
海面養殖業	2,661	2,522	139	5.5
内水面漁業・養殖業	1,052	1,058	△ 6	△ 0.6
内水面漁業	7	4	3	75.0
内水面養殖業	1,045	1,054	△ 9	△ 0.9

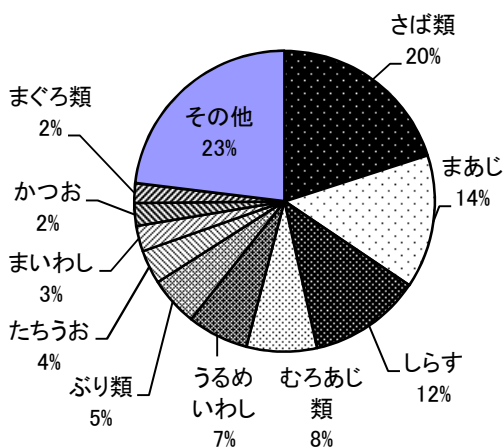
(2) 漁業・養殖業産出額(海面)

平成29年の海面漁業・養殖業産出額の合計は133億8,000万円で、海面漁業産出額が前年に比
 べ9億5,400万円(10%)減少して、84億6,200万円であり、海面養殖業が49億1,800万円であった。
 魚種別にみると、マアジが3億4,000万円(93%)、増加した一方で、タチウオが2億8,500万円(27%)、
 シラスが2億5,300万円(16%)、ムロアジ類が2億4,800万円(52%)減少したことなどによる。

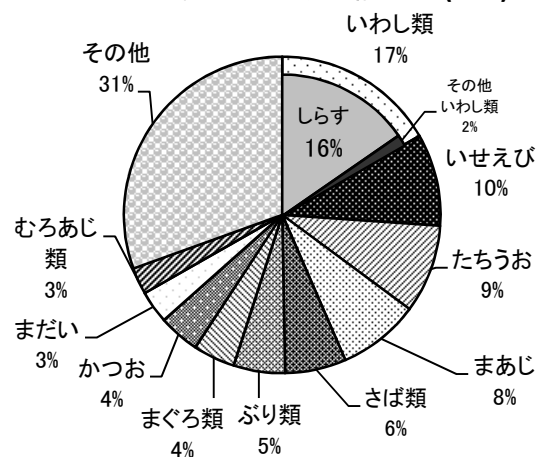
単位：百万円				
項 目	平成29年	28年	対前年差	対前年増減率 %
海面漁業・養殖業計	13,380	15,452	△ 2,072	△ 13.4
海面漁業	8,462	9,416	△ 954	△ 10.1
海面養殖業*	4,918	6,036	-	-
(参考)種苗*	1,917	-	-	-

* 平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないこととなったため、
 平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない。
 また、種苗の産出額については参考値として掲載した。

海面漁業魚種別漁獲量の構成比(H29)



海面漁業魚種別産出額の構成比(H29)



(1) 漁業・養殖業部門別生産量

(単位：t)

年次・海区	合 計	海 面					内 水 面 漁 業 ・ 養 殖 業
		計	遠洋漁業	沖合漁業	沿岸漁業	養 殖 業	
全 国 H28	4,306,129	4,244,076	313,734	2,051,479	892,807	986,056	62,054
20	38,427	37,157	33,154			4,003	1,270
21	31,529	30,429	27,323			3,106	1,100
22	32,738	31,584	28,598			2,986	1,154
23	31,305	30,231	28,361			1,871	1,074
24	27,409	26,445	24,896			1,549	964
25	26,372	25,391	23,638			1,753	981
26	26,010	25,000	22,356			2,644	1,010
27	26,744	25,746	22,901			2,845	998
28	25,750	24,692	22,170			2,522	1,058
29	22,514	21,462	18,801			2,661	1,052
瀬戸内海区	－	7,482	7,394			88	－
太平洋南区	－	13,980	11,407			2,573	－

※漁船漁業には、漁船非使用漁業を含む。

※平成19年調査より稼働量調査が一部漁業に限定されたため、都道府県別の部門別生産量の把握はなし。

(2) 主要海面漁業・養殖業種類別生産量

(単位：t)

年次	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
漁業種類										
合 計	37,157	30,429	31,584	30,231	26,445	25,391	25,000	25,746	24,692	21,462
海 面 漁 業 計	33,154	27,323	28,598	28,361	24,896	23,638	22,356	22,901	22,170	18,801
小型底びき網	3,624	2,940	2,364	2,747	2,894	2,520	2,707	2,543	2,482	2,321
船 び き 網	2,318	1,703	2,277	2,931	2,882	2,449	2,342	1,810	3,159	2,281
中・小型まき網	15,476	11,852	13,891	13,276	9,772	9,991	9,474	11,672	9,994	8,187
刺 網	526	612	599	441	425	395	445	378	387	326
敷 網	×	×	×	73	13	70	×	×	×	×
大型定置網	2,610	2,221	2,667	2,762	2,623	2,688	2,840	2,567	2,768	2,404
小型定置網	1,040	767	756	852	757	639	×	640	651	519
その他の網漁業	1,941	1,248	1,109	979	943	750	786	734	415	337
近海まぐろはえ縄	×	×	157	101	65	55	229	244	304	252
沿岸まぐろはえ縄	×	980	745	770	728	625	296	221	×	31
その他のはえ縄	185	152	173	175	176	171	154	×	197	218
沿岸かつお一本釣	393	641	×	395	270	350	187	61	×	×
沿岸いか釣	147	60	38	102	82	52	35	16	16	27
ひ き 縄 釣	1,755	1,710	2,030	880	1,735	1,196	402	422	489	480
そ の 他 の 釣	987	995	775	818	726	619	604	618	586	540
採 貝 ・ 採 藻	719	731	278	748	452	764	797	533	418	582
その他の漁業	372	459	253	312	354	305	241	233	207	202
海 面 養 殖 業 計	4,003	3,106	2,986	1,871	1,549	1,753	2,644	2,845	2,522	2,661
ぶ り 類	295	223	248	108	42	44	51	59	43	41
し ま あ じ	29	23	32	37	32	38	70	70	42	43
ま だ い	2,904	2,079	1,827	1,221	1,175	1,257	1,496	1,561	1,527	1,492
くろまぐろ	...	...	...	...	89	203	867	1,045	796	945
その他の魚類	628	642	735	365	68	72	41	36	50	69
貝 類	×	×	50	43	44	30	22	13	10	7
くるまえび	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
海 藻 類	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

(3) 海面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

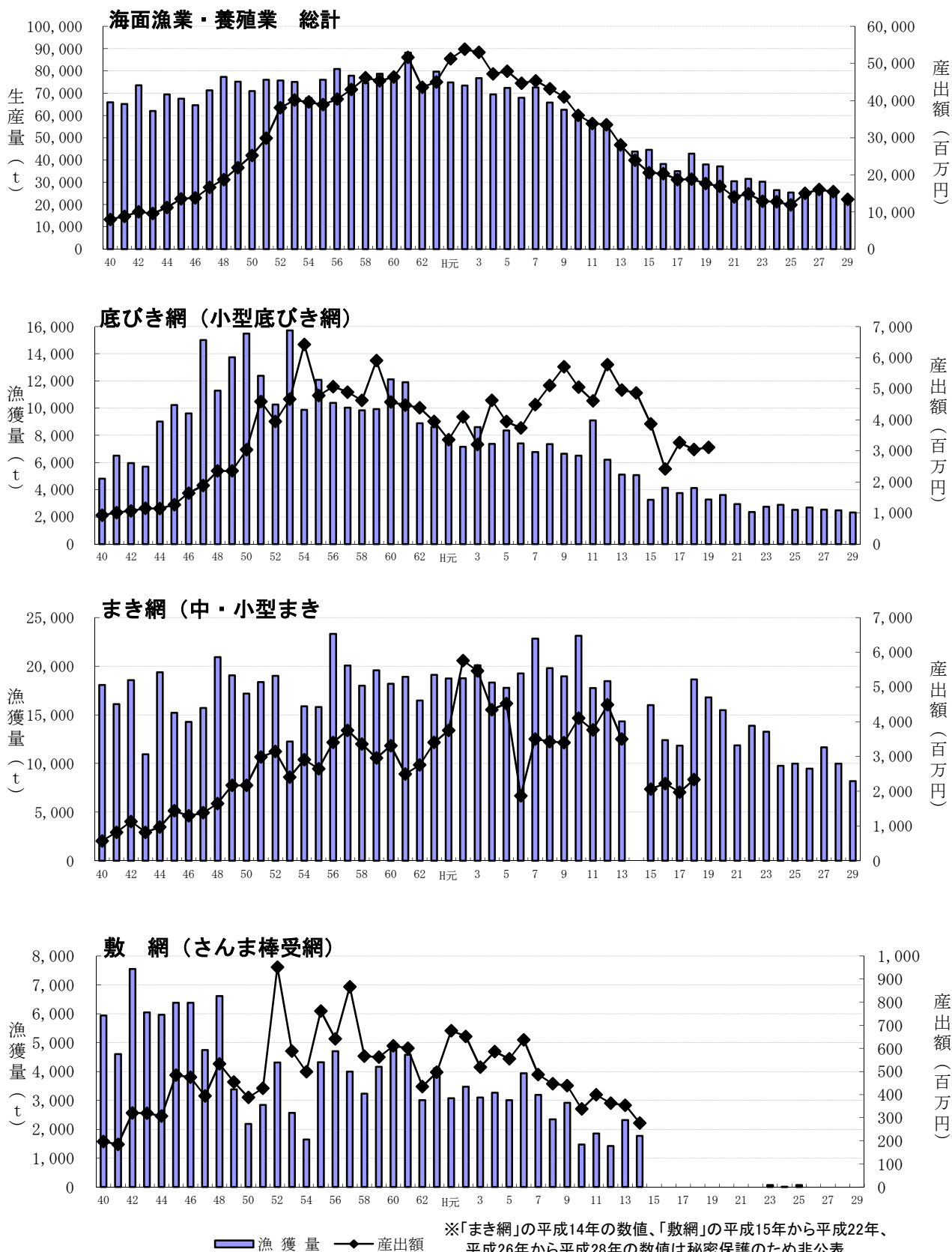
魚 種	年 次	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
魚 類	く ろ ま ぐ ろ	118	89	63	60	94	203	51	20	39	38
	み な み ま ぐ ろ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	び ん な が	564	825	716	663	701	463	340	349	183	209
	め ば ち	160	127	94	χ	79	49	68	23	χ	21
	き は だ	263	305	282	432	284	249	162	164	χ	130
	その他のまぐろ類	4	1	2	χ	0	0	-	-	-	-
	ま か じ き	18	30	29	22	30	30	19	11	14	15
	め か じ き	23	24	15	12	10	9	χ	χ	χ	χ
	く ろ か じ き 類	42	50	48	32	15	31	χ	χ	χ	χ
	その他のかじき類	2	3	2	1	1	1	2	0	2	1
	か つ お	1,605	1,756	1,942	715	1,475	1,158	375	313	450	462
	そうだがつお類	498	224	511	186	711	369	272	168	217	134
	さ め	77	75	57	97	73	78	69	113	61	30
	こ の し ろ	0	1	0	0	1	0	0	0	χ	χ
	ま い わ し	695	507	787	1,319	720	932	1,899	1,839	2,107	516
	う る め い わ し	1,143	1,007	1,178	971	1,307	1,966	1,568	2,103	1,337	1,238
	か た く ち い わ し	159	328	206	347	231	194	224	323	259	109
	し ら す じ	1,955	1,448	2,160	1,925	2,794	2,408	2,327	1,794	3,162	2,277
	ま あ じ 類	3,674	2,884	1,991	2,017	1,118	1,446	1,525	1,390	1,134	2,703
	む ろ あ じ 類	4,646	3,217	2,351	3,536	2,530	2,429	2,181	2,296	3,239	1,420
	さ ば 類	8,494	6,430	9,229	7,517	5,938	4,984	4,012	5,395	3,467	3,768
	さ ん ま	444	94	143	180	128	120	132	44	χ	3
	ぶ り 類	661	604	941	966	762	825	876	1,055	1,086	997
	ひ ら め	39	39	33	45	29	30	42	28	29	32
	か れ い 類	133	80	78	65	73	67	76	65	61	32
	に ぎ す 類	39	37	40	11	29	-	-	-	-	-
	あ な ご 類	11	11	9	7	5	5	7	4	χ	χ
	た ち う お	1,921	1,835	1,068	1,107	1,106	966	1,065	728	990	685
	ま だ い	228	243	253	311	269	199	287	306	251	279
	ち だ い ・ き だ い	100	80	77	116	132	125	157	201	145	154
	く ろ だ い ・ へ だ い	73	64	54	74	66	52	56	68	51	72
	い さ き	213	240	216	229	208	196	186	207	215	165
	さ わ ら 類	82	141	110	121	145	156	249	292	338	140
	す ず き 類	20	20	24	34	40	21	31	21	8	20
	い か な ゴ	125	-	25	530	17	-	0	0	-	-
	あ ま だ い 類	3	3	4	3	3	3	4	5	5	4
	ふ ぐ 類	91	64	101	97	133	115	145	148	117	102
	そ の 他 の 魚 類	2,233	1,868	2,280	2,113	1,809	1,787	2,216	2,033	1,758	1,715
	計	30,553	24,754	27,117	25,956	23,066	21,666	20,648	21,523	20,918	17,481
その他の水産動物	い せ え び	157	175	171	166	169	161	170	166	147	125
	く る ま え び	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0
	その他のえび類	182	179	155	157	221	162	91	75	104	88
	が ざ み 類	2	1	1	1	2	2	2	2	3	3
	その他のかに類	6	6	6	4	5	5	5	4	2	3
	す る め い か	291	313	215	238	228	229	180	84	60	54
	その他のいか類	838	685	385	765	387	325	211	249	294	249
	た こ 類	75	94	50	64	44	62	45	35	32	29
	う に 類	12	9	10	10	13	12	12	11	15	9
	その他の水産動物類	44	38	40	54	45	37	37	χ	27	24
	計	1,610	1,501	1,034	1,462	1,115	996	753	χ	684	583
海 産 ほ 乳 類		271	341	174	201	265	215	162	χ	145	150
貝 類	あ わ び 類	28	21	17	13	11	12	12	10	10	10
	さ ざ え	23	24	19	16	20	33	25	18	24	16
	あ さ り 類	1	1	0	0	0	-	-	-	-	-
	そ の 他 の 貝 類	46	52	48	63	29	40	55	38	58	46
	計	97	98	84	91	61	85	92	65	92	72
海 藻 類		623	630	191	652	389	676	703	471	332	513
合 計		33,154	27,323	28,598	28,361	24,896	23,638	22,356	22,901	22,170	18,801

※その他の魚類は、めめけ類、にべぐち類、えそ類、いぼだい、はも、えい類、しいら類、とびうお類、ぼら類を含む。

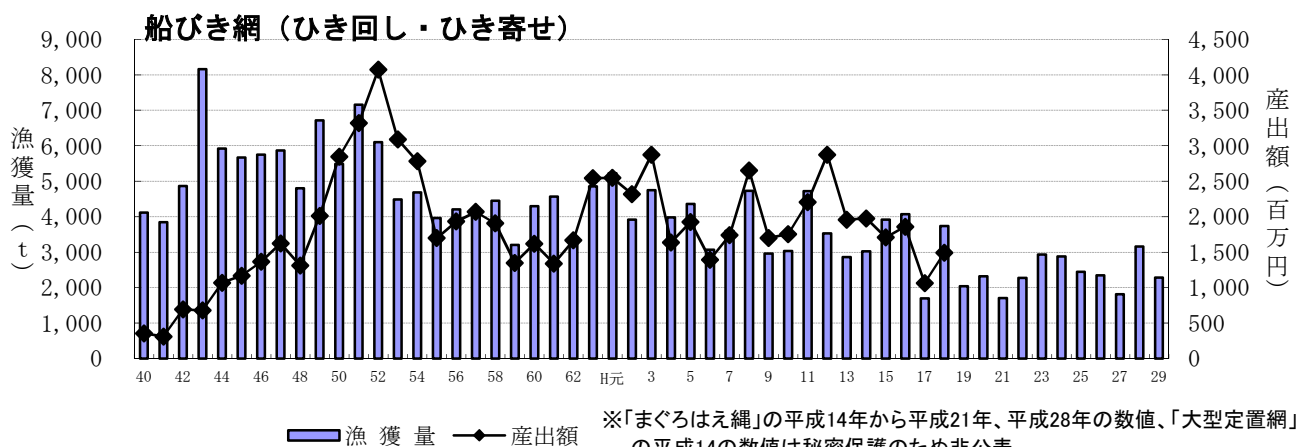
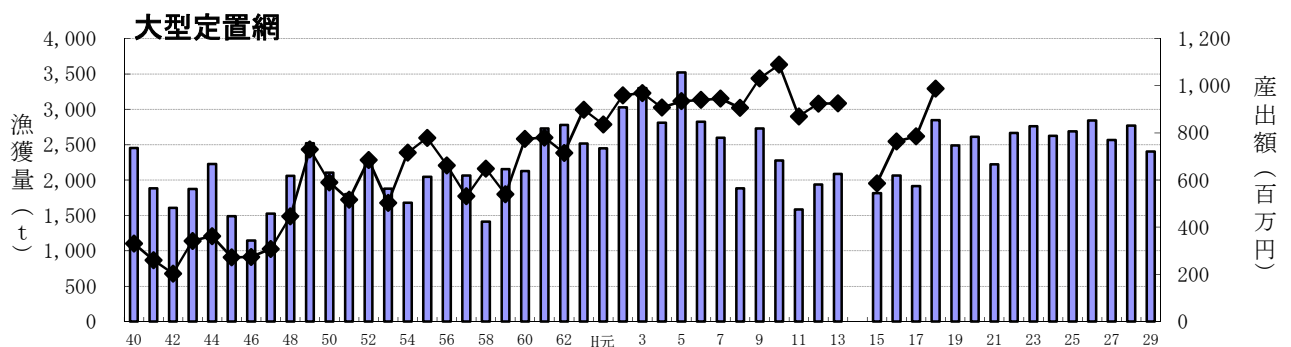
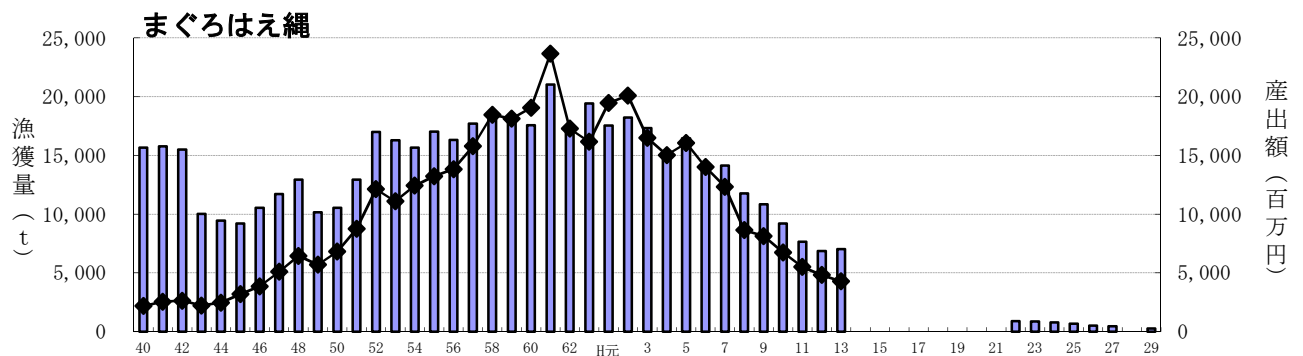
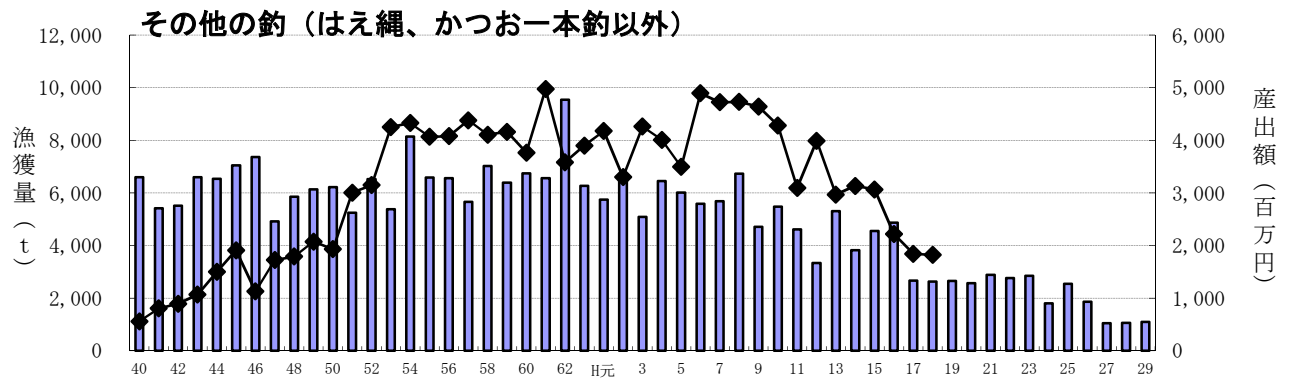
※その他の水産動物類は、なまこ類を含む。

※その他の海藻類は、ひじき、わかめ類、てんぐさ類を含む。

ア 主な漁業種類別漁獲量・産出額の推移



※「まき網」の平成14年の数値、「敷網」の平成15年から平成22年、平成26年から平成28年の数値は秘密保護のため非公表
 ※平成19年より漁業種類別産出額についての調査は行われていない
 ※平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないこととなったため、平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない

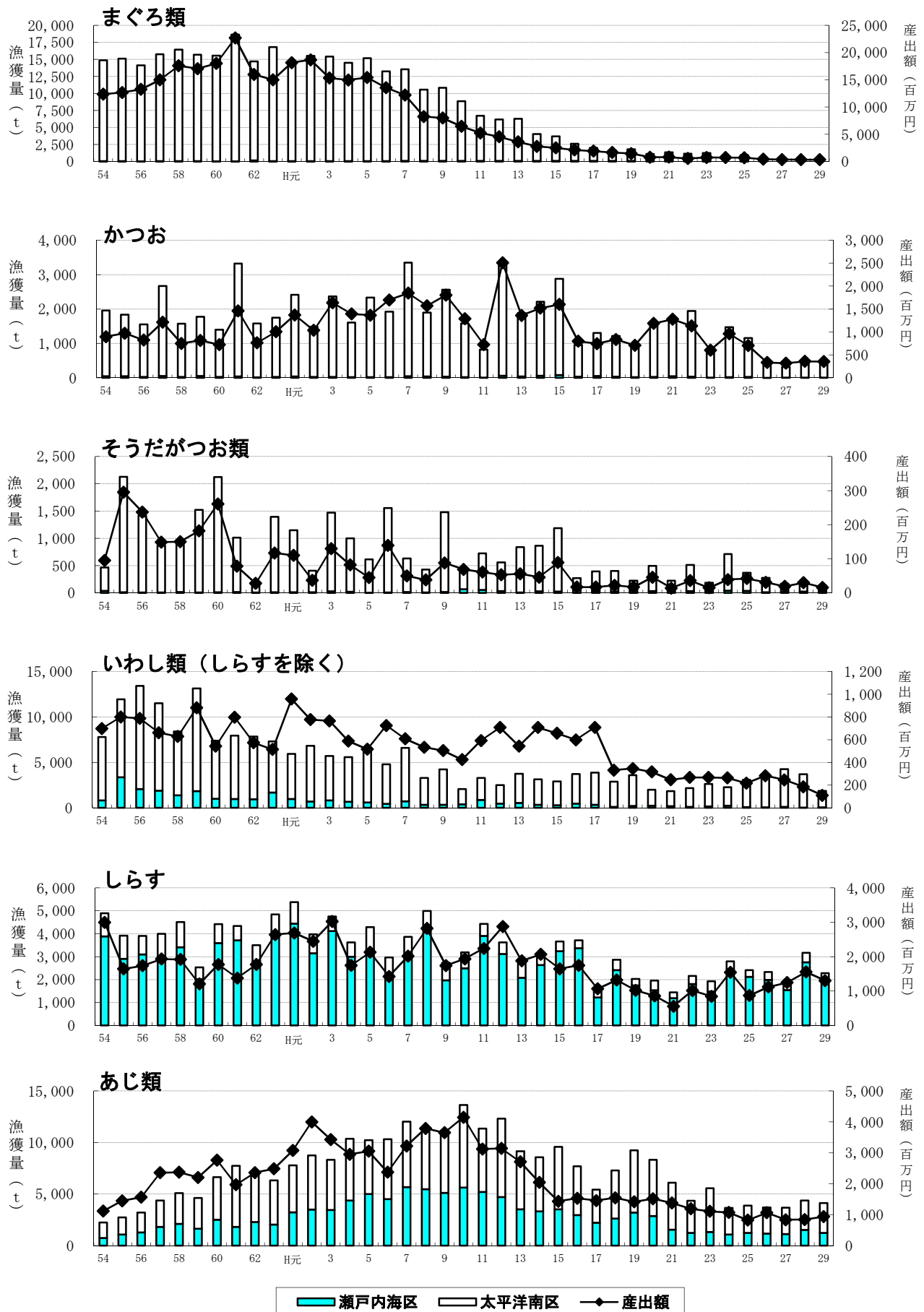


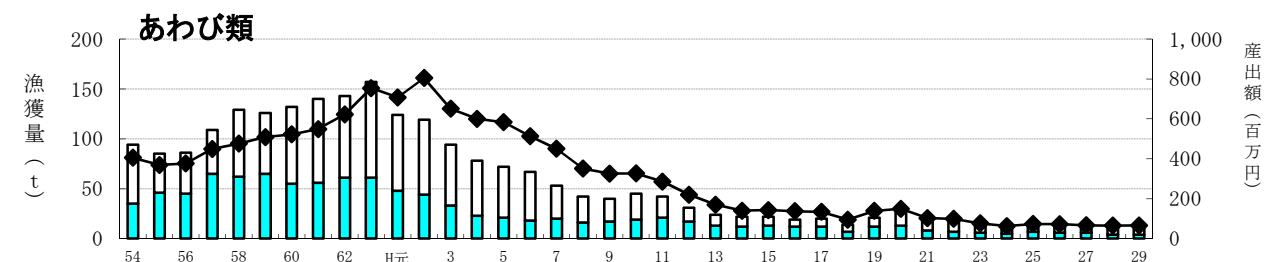
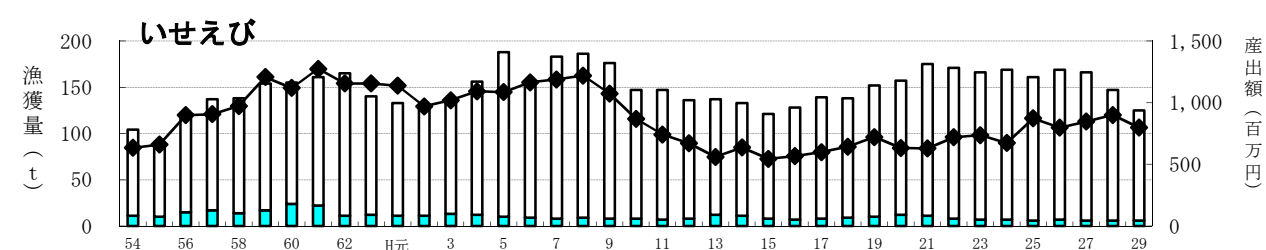
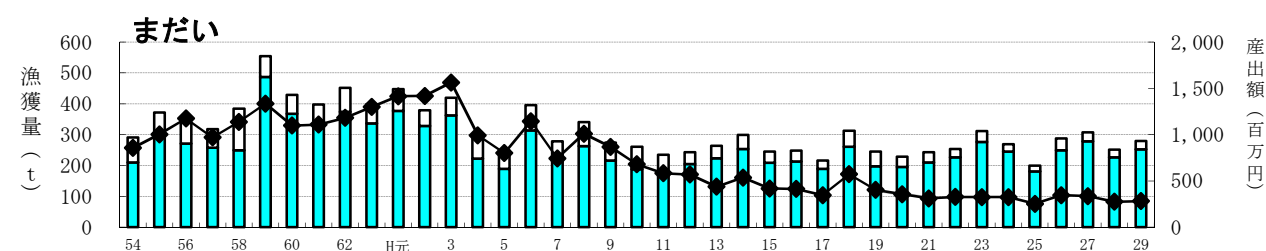
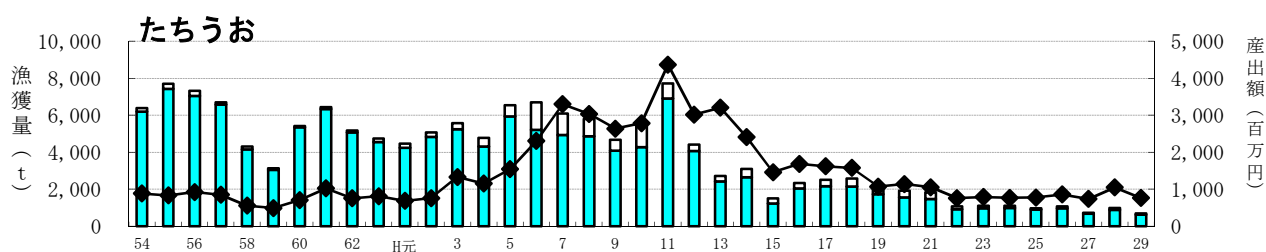
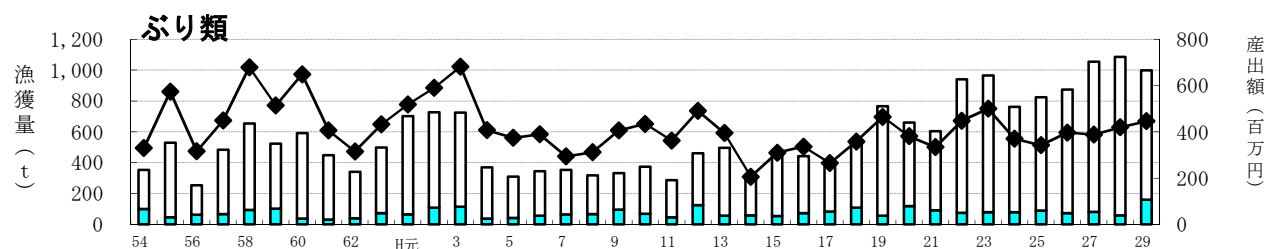
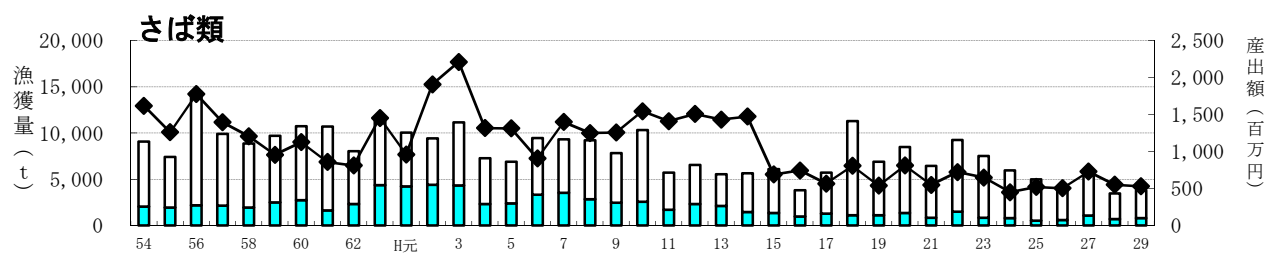
※「まぐろはえ縄」の平成14年から平成21年、平成28年の数値、「大型定置網」の平成14の数値は秘密保護のため非公表

※「船びき網」は平成14年以降「ひき寄せ船びき網」については非公表のため、「ひき回し船びき網」のみの数値

※平成19年より漁業種別産出額についての調査は行われていない

イ 主な魚種別漁獲量・産出額の推移





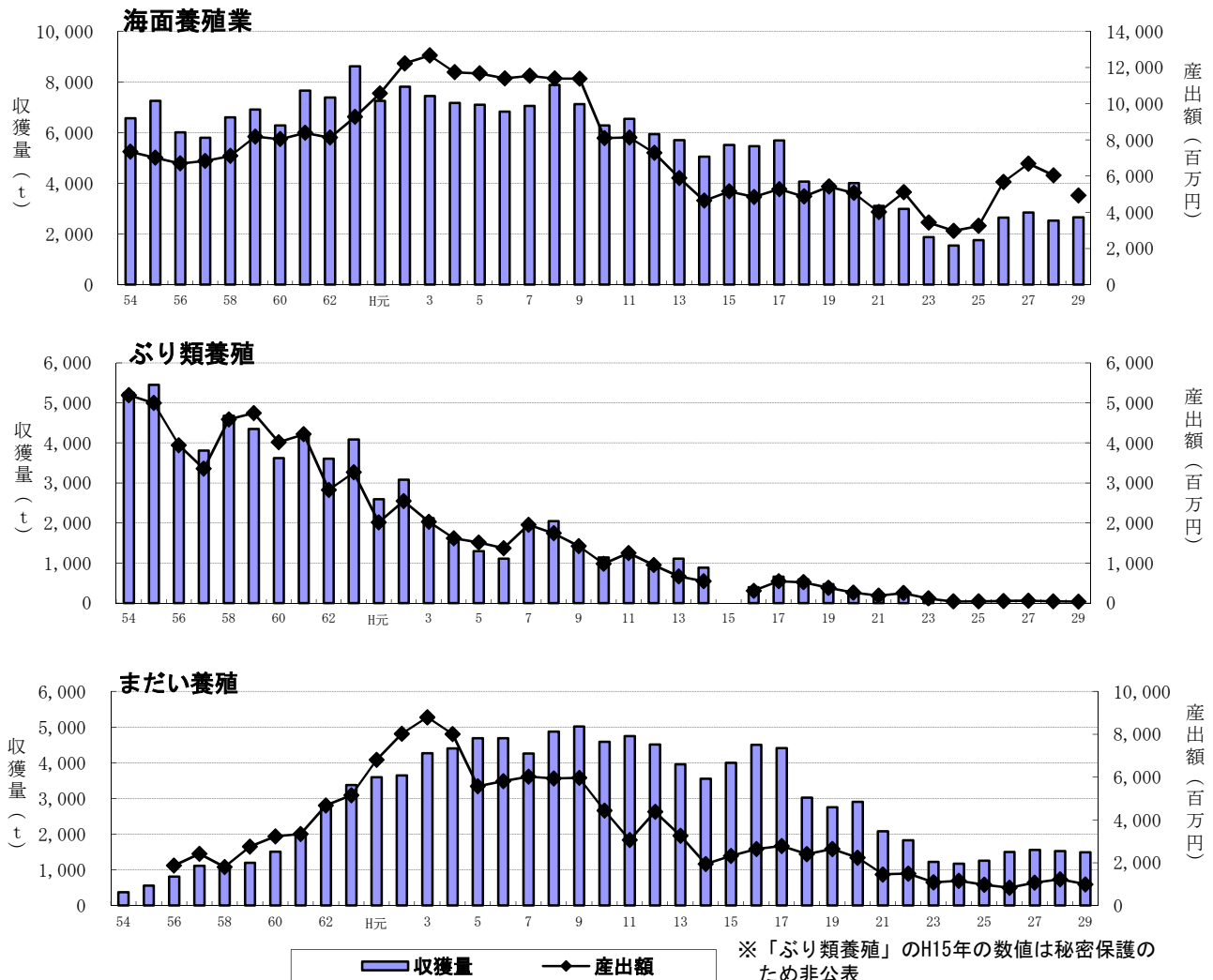
■ 瀬戸内海区
 □ 太平洋南区
 ◆ 産出額

(4) 海面養殖業収獲量

(経営体数：実数、収獲量：t)

年次区分	H20		21		22		23		24		25		26		27		28		29	
魚 種	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量
ぶ り 類	4	295	...	223	...	248	...	108	...	42	2	44	...	51	...	59	...	43	...	41
し ま あ じ	...	29	...	23	...	32	...	37	...	32	...	38	...	41	...	36	...	42	...	69
ま だ い	29	2,904	...	2,079	...	1,827	...	1,221	...	1,175	11	1,257	...	1,496	...	1,561	...	1,527	...	1,492
くろまぐろ	...	...	...	...	...	...	...	...	...	89	4	203	...	867	...	1,045	...	796	...	945
その他の魚類	...	628	...	642	...	735	...	365	...	68	-	72	...	70	...	70	...	50	...	43
貝 類	...	...	...	...	...	50	...	43	...	44	3	30	...	22	...	13	...	10	...	7
くるまえばい	1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	1	...	...	...	...	...	...	...	...	...
の り 類	9	-	...	-	...	-	...	...	...	-	-	...	...	-	...	-	...	-	...	-
わかめ類	30	79	...	87	...	...	...	...	...	...	15	...	...	...	...	...	...	...	...	...
真 珠	2	...	...	...	...	-	...	-	...	-	-	-	...	-	...	-	...	-	...	-
合 計		4,003		3,106		2,986		1,871		1,549		1,753		2,644		2,845		2,522		2,661

注：海面養殖業経営体数については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。



※「ぶり類養殖」のH15年の数値は秘密保護のため非公表
 ※「まだい養殖」の産出額についてはH5年以降、種苗養殖を除いた数値である
 ※平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないこととなったため、平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない

(5) 内水面漁業・養殖業生産量 (平成29年)

内水面漁業・養殖業生産量は、前年に比べ6トン(1%)減少して1,052トンとなった。

内水面漁業漁獲量は、3トン(75%)増加して7トンとなった。

内水面養殖業収獲量は、9トン(1%)減少して1,045トンで、全国9位となっている。

内訳は養殖アユが5トン(1%)減少し、1,034トンとなっている。

ア 内水面漁業漁獲量

(単位：t)

年次・水系	漁獲量								
	計	あゆ	こい	ふな	うなぎ	その他魚類	貝類	その他の水産動植物類	藻類
全 国 H29	25,215	2,168	213	512	71	9,109	12,616	525	...
和歌山 H20	6	5	-	-	0	0	-	1	...
21	8	6	-	-	0	0	-	1	...
22	6	5	-	-	0	0	-	1	...
23	6	5	-	-	0	0	-	1	...
24	6	4	-	-	0	0	-	1	...
25	5	4	-	-	0	0	-	1	...
26	6	5	-	-	0	0	-	1	...
27	7	5	-	-	0	0	-	1	...
28	4	4	-	-	0	0	-	0	...
29	7	6	-	-	0	0	-	1	...
紀ノ川	3	2	-	-	0	0	-	-	...
有田川	×	×	×	×	×	×	×	×	...
日高川	×	×	×	×	×	×	×	×	...
熊野川	×	×	×	×	×	×	×	×	...

注1: 主要4河川の漁獲量である。

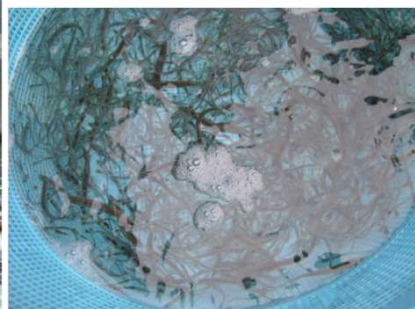
注2: 平成18年調査より、内水面漁業の調査範囲を、主要4河川において、販売を目的として漁獲された量のみとした。遊漁者(レクリエーションを主な目的として水産動植物を採捕するもの)による採捕量は含まれない。

イ 内水面養殖業収獲量

(経営体数：実数、収獲量：t)

年次区分 魚種	H20		21		22		23		24		25		26		27		28		29	
	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量
あゆ	17	1,243	...	1,074	...	1,131	...	1,056	...	948	12	966	...	992	...	984	...	1,039	...	1,034
ます類	4	×	...	×	...	×	...	×	...	×	4	×	...	×	...	×	...	×	...	×
うなぎ	1	×	...	×	...	×	...	×	...	×	1	×	...	×	...	×	...	×	...	×
その他の養殖	1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	2	...	...	...	...	...	...	...	...	...
合 計	23	1,264	...	1,092	...	1,148	...	1,068	...	958	19	976	...	1,004	...	991	...	1,054	...	1,045

注：内水面養殖業経営体については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。



海産稚あゆの受け渡し(日高町)

(6) 漁業産出額

魚種別産出額

区 分	合計	海面漁業計	魚 類					
			計	ま ぐ ろ 類				
				計	くろまぐろ	みなみまぐろ	びんなが	めばち
全国 H 29	14,606※	9,627	6,693	1,225	166	73	171	438
和歌山 H 20	16,918	11,855	9,725	808	174	-	215	197
21	14,053	10,044	8,196	815	103	-	333	136
22	14,871	9,768	8,135	560	80	-	245	69
23	12,919	9,492	7,633	752	105	-	241	χ
24	12,731	9,760	8,117	726	125	-	243	116
25	11,915	8,674	6,759	722	286	-	160	64
26	15,022	9,352	7,021	438	76	-	150	75
27	16,032	9,351	6,999	372	59	-	146	30
28	15,452	9,416	7,381	359	92	-	107	χ
和歌山 H 29	13,380※	8,462	6,445	362	119	-	102	30
瀬戸内海区	4,169	4,128	3,614	106	χ	-	20	χ
太平洋南区	9,211	4,334	2,831	257	χ	-	82	χ

区 分	魚 類							
	さめ類	このしろ	い わ し 類					あじ類
			計	まいわし	うるめいわし	かたくちいわし	しらす	
全国 H 29	50	8	667	254	44	129	240	309
和歌山 H 20	20	0	1,176	146	161	9	860	1,515
21	16	0	805	95	135	17	558	1,377
22	15	0	1,282	151	105	11	1,014	1,192
23	20	0	1,113	160	93	13	846	1,109
24	15	0	1,807	146	100	18	1,544	1,070
25	16	0	1,086	77	126	14	869	823
26	16	0	1,399	133	137	13	1,116	1,062
27	23	0	1,493	102	123	20	1,247	834
28	13	χ	1,740	80	92	13	1,555	843
和歌山 H 29	7	χ	1,412	28	71	11	1,302	935
瀬戸内海区	7	χ	1,140	7	χ	χ	1,128	325
太平洋南区	0	χ	272	21	χ	χ	174	610



まぐろ



しらす

単位 { 全 国： 億円
和歌山：100万円

魚 類										区分
ま ぐ ろ 類		か じ き 類					か つ お 類			
きはだ	その他のまぐろ類	計	まかじき	めかじき	くろかじき類	その他のかじき類	計	かつお	そうだがつお類	
373	5	100	13	72	12	4	691	681	10	全国 2017
220	2	47	12	20	15	1	1,232	1185	46	2008
242	0	60	18	17	24	1	1,290	1,276	14	2009
175	1	38	15	7	16	1	1,165	1,130	35	2010
286	ㄨ	37	15	10	12	0	619	604	15	2011
242	0	34	19	8	7	0	999	960	39	2012
212	0	34	16	7	11	0	746	704	42	2013
137	-	35	15	ㄨ	ㄨ	0	365	334	31	2014
137	-	14	6	ㄨ	ㄨ	0	338	319	19	2015
ㄨ	-	ㄨ	11	ㄨ	ㄨ	0	391	360	30	2016
111	-	20	12	ㄨ	ㄨ	0	371	354	16	2017
20	-	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	12	6	6	瀬戸内海区
91	-	ㄨ	ㄨ	ㄨ	3	ㄨ	359	349	10	太平洋南区

魚 類										区分	
あ じ 類		さば類	さんま	ぶり類	ひらめ	かれい類	にぎす類	あなご類	たちうお		
まあじ	むろあじ類										
283	26	450	246	312	76	178	7	39	51	全国	2017
783	731	809	35	381	85	160	11	14	1,141		2008
841	535	549	21	334	73	128	10	15	1,055		2009
695	497	722	18	448	61	133	10	11	756		2010
500	609	647	29	500	76	105	4	8	788		2011
594	477	449	26	370	57	101	7	6	769		2012
449	374	521	16	342	53	114	－	5	776		2013
634	428	502	24	397	69	94	－	7	859		2014
435	399	727	8	388	50	86	－	4	738		2015
364	479	551	χ	420	56	78	－	χ	1,049		2016
704	231	529	2	446	56	43	－	χ	764		2017
215	109	146	－	85	22	42	－	χ	701	瀬戸内海区	
488	122	383	2	361	34	1	－	－	62	太平洋南区	

※ 平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないことになったため、全国及び和歌山県の漁業産出額合計について平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない。



かつお



たちうお

魚種別産出額（つづき）

区 分	魚 類								
	た い 類				いさき	さわら類	すずき類	いかなご	あまだい類
	計	まだい	ちだい・きだい	くろだい・へだい					
全国 H 29	151	115	24	13	28	103	40	49	24
和歌山 H 20	422	355	52	15	168	94	17	57	9
21	374	311	43	20	167	120	13	－	11
22	386	326	41	18	172	103	15	17	14
23	396	324	49	24	172	95	16	182	8
24	404	325	59	21	149	153	15	8	10
25	320	251	54	15	154	149	11	－	12
26	431	345	57	29	154	213	14	0	11
27	428	334	77	18	160	302	10	0	19
28	349	275	57	17	167	291	8	－	16
和歌山 H 29	359	282	60	17	140	131	10	－	16
瀬戸内海区	332	259	57	15	64	58	7	－	10
太平洋南区	27	22	2	2	76	74	3	－	7

区 分	貝 類				い か 類			たこ類	うに類
	あわび類	さざえ	あさり類	その他の貝類	計	するめいか	その他のいか類※4		
全国 H 29	71	39	39	756	645	365	23	235	123
和歌山 H 20	149	18	0	121	556	64	491	68	7
21	103	18	0	119	426	67	360	71	6
22	99	14	0	106	328	52	276	50	12
23	76	13	0	128	391	59	332	55	12
24	63	15	0	66	331	59	273	44	10
25	73	24	－	90	313	55	257	59	7
26	72	15	－	109	240	48	192	52	7
27	67	14	－	84	263	24	239	43	9
28	65	18	－	113	288	27	261	37	9
和歌山 H 29	66	13	－	98	275	30	245	39	13
瀬戸内海区	31	5	－	6	207	0	207	38	4
太平洋南区	34	8	－	92	67	30	38	1	9



まだい



いさき

単位 { 全 国： 億円
和歌山：100万円

魚 類		え び 類				か に 類			貝類	区分
ふぐ類	その他の魚類 ^{※3}	計	いせえび	くるま えび	その他の えび類	計	がざみ類	その他の かに類	計	
34	1,853	278	65	18	195	321	23	298	904	全国 2017
72	1,453	842	633	7	203	10	2	8	287	2008
62	899	782	629	5	148	8	1	7	241	2009
61	957	908	719	4	185	7	1	6	220	2010
66	891	891	737	4	150	7	1	6	216	2011
61	881	884	673	4	206	9	2	7	144	2012
49	809	1,073	872	7	195	7	2	6	186	2013
50	882	999	797	3	200	5	1	4	196	2014
58	946	986	847	2	137	7	3	4	164	2015
48	978	1,024	900	2	122	6	3	3	195	2016
46	794	910	797	1	113	6	3	3	177	2017
22	530	140	35	1	104	2	1	1	43	瀬戸内海区
24	264	770	762	0	9	4	2	2	134	太平洋南区

海産 ほ乳類	その他の 水産動物 ^{※5}	海藻類 ^{※6}	海 面 養 殖						(参考)種苗	区分
			計	ぶり類	しまあじ	まだい	くろまぐろ	その他の 海面養殖		
5 ^{※7}	199	211	4,979 ^{※1}	1,192	58	552	445	2,733	271 ^{※2}	全国 2017
128	23	209	5,063	259	56	2,230	...	2,518	...	2008
129	21	164	4,009	184	38	1,455	...	2,332	...	2009
22	19	67	5,102	251	52	1,489	...	3,310	...	2010
46	27	213	3,427	115	60	1,078	...	2,174	...	2011
82	20	118	2,971	40	54	1,158	326	1,393	...	2012
62	18	189	3,241	42	66	975	767	1,391	...	2013
75	548	208	5,670	49	71	831	3,277	1,442	...	2014
χ	χ	148	6,681	60	60	1,070	3,951	1,540	...	2015
69	216	190	6,036	42	73	1,228	3,010	1,683	...	2016
64	204	330	4,918^{※1}	39	120	992	3,571	196	1,917^{※2}	2017
-	24	57	42	χ	χ	χ	-	χ	χ	瀬戸内海区
64	180	273	4,877	χ	χ	χ	3,571	χ	1,917	太平洋南区



いせえび

※1 平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないこととなったため、全国及び和歌山県の海面養殖業産出額について平成28年以前と平成29年以降では単純に比較できない。

※2 種苗の産出額については参考値として掲載した。(漁業産出額の合計には計上していない。また、平成28年以前はその他の海面養殖に計上している)

※3 その他の魚類には、めぬけ類、にべ・ぐち類、えそ類、いぼだい、はも、えい類、しいら類、とびうお類、ぼら類を含む。

※4 その他のいか類は、こういか類を含む。

※5 その他の水産動物は、なまこ類を含む。

※6 海藻類は、ひじき、わかめ類、てんぐさを含む。

※7 全国の海産ほ乳類は、捕鯨業を含む。

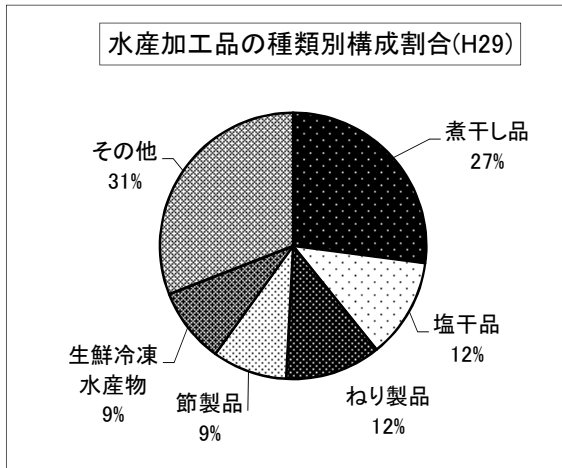
※8 全国のその他魚類は、たら類、ほっけ、きちじ、はたはたを含む。

4 水産加工

水産加工品の生産量(冷凍食品、くん製品、焼・味付のりを除く)は14,933トンであった。

加工種類別の構成割合をみると、煮干し品4,042トン、塩干品1,816トン、ねり製品1,734トン、節製品1,359トンの順に多く、この4種類で生産量全体の約6割を占めている。

なお、煮干し品のうち「しらす干し」の生産量は4,027トンで、全国順位2位(全国シェア15%)である。



あじ塩干品の加工(比井崎漁協)

(1) 水産加工品目別経営体数

品 目 \ 年 次	H9	10	11	12	13	14	15	16	17	20	25
実 経 営 体 数	225	218	213	208	204	201	197	188	184	175	157
ね り 製 品 (かまぼこ類)	43	42	39	38	34	33	35	34	33	30	23
生鮮冷凍水産物	16	17	16	12	12	18	25	17	16	16	4
冷 凍 食 品	3	4	3	3	3	4	10	6	6	5	4
素 干 し 品	11	12	14	13	13	13	31	17	18	13	2
塩 干 品	75	75	74	70	69	68	82	72	70	61	38
煮 干 し 品	80	77	76	75	73	71	68	63	63	50	42
塩 蔵 品	4	4	3	4	3	4	18	4	4	5	1
節 製 品	44	45	45	42	44	43	33	30	29	28	17
そ の 他 の 水 産 加 工 品	34 +χ	38 +χ	43 +χ	40 +χ	43	41	40	49	54	47	22
焼・味付けのり	5	5	4	5	5	5	5	5	5	4	4

加工種類別経営体数はのべ経営体数

※平成18年より水産加工品目別経営体数については、調査対象から除外された。

※平成20年以降は、「漁業センサス」流通加工業における主とする加工種類別工場数より

(2) 水産加工品目別生産量

単位：t

年次	※1 合計	ねり製品	生 鮮 冷 凍 水 産 物					
		計	計	まぐろ類	かつお類	いわし類	まあじ・ むろあじ類	さば類
全 国 H29	2,519,448	444,116	1,366,166	21,898	17,921	393,409	63,026	425,576
和歌山 H20	17,660	2,719	3,041	ㄻ	ㄻ	78	377	395
21	16,649	ㄻ	3,214	603	836	204	37	535
22	18,547	2,462	2,405	ㄻ	ㄻ	ㄻ	52	606
23	18,187	2,364	2,429	481	ㄻ	ㄻ	338	386
24	17,081	1,565	3,849	1,809	ㄻ	ㄻ	84	417
25	15,229	1,803	1,357	643	ㄻ	ㄻ	24	ㄻ
26	15,424	1,803	1,146	671	ㄻ	ㄻ	7	124
27	15,601	1,760	1,624	1,083	ㄻ	ㄻ	3	117
28	15,892	1,726	1,365	691	ㄻ	9	9	113
29	14,933	1,734	1,800	930	ㄻ	7	ㄻ	126

年次	生 鮮 冷 凍 水 産 物 (つづき)				冷 凍 食 品			素干し品
	さんま	いか類	その他の魚類・ 水産動物類	すり身	計	魚介類	その他	計
全 国 H29	67,391	25,028	311,272	40,645	248,443	128,249	120,194	8,644
和歌山 H20	60	197	932	—	1,579	ㄻ	ㄻ	56
21	5	195	799	—	3,090	1,533	1,557	81
22	ㄻ	ㄻ	ㄻ	—	2,019	ㄻ	ㄻ	53
23	10	ㄻ	ㄻ	—	1,235	446	789	59
24	20	273	ㄻ	—	977	459	518	46
25	ㄻ	184	187	—	1,088	766	322	53
26	8	198	98	—	1,147	818	329	69
27	—	187	225	ㄻ	989	614	375	52
28	ㄻ	191	ㄻ	—	1,037	663	374	33
29	ㄻ	182	ㄻ	—	ㄻ	ㄻ	430	30

年次	素 干 し 品			塩 干 品				
	するめいか	いわし	その他	計	いわし	あじ	さんま	さば
全 国 H29	2,423	603	5,618	148,119	10,935	30,043	12,744	22,476
和歌山 H20	39	ㄻ	ㄻ	3,656	609	1,267	1,298	42
21	60	2	19	3,107	345	940	1,222	33
22	47	ㄻ	ㄻ	2,942	368	897	1,128	ㄻ
23	59	ㄻ	ㄻ	2,492	471	479	1,032	56
24	ㄻ	ㄻ	ㄻ	1,996	175	536	943	ㄻ
25	48	ㄻ	ㄻ	2,168	233	518	1,045	52
26	64	ㄻ	ㄻ	2,110	196	542	1,024	51
27	47	ㄻ	ㄻ	2,085	189	573	992	66
28	29	ㄻ	ㄻ	1,928	155	514	948	63
29	27	ㄻ	ㄻ	1,816	127	503	894	65



塩干品・煮干し品

※1は「焼・味付のり」を除く。

全国値については、食用加工品と生鮮冷凍水産物の生産量の合計である。

和歌山県の数値については、平成19年から平成21年、平成25年から平成29年のくん製品、平成21年のねり製品、平成25年の塩蔵品、平成29年の冷凍食品を除く。

単位：t

年次	塩干品(つづき)		煮 干 し 品				塩 蔵 品	
	そ の 他	計	い わ し	しらす干し	いかなご・ こうなご	そ の 他	計	い わ し
全 国 H29	71,921	50,224	18,992	26,428	1,224	3,580	166,340	1,109
和歌山 H20	440	3,571	9	3,440	90	32	364	—
21	567	3,752	8	3,744	—	—	423	—
22	×	4,465	×	4,379	×	—	436	—
23	454	4,182	×	3,670	×	—	360	—
24	×	3,627	×	3,352	×	—	402	—
25	320	3,613	5	3,595	5	9	×	×
26	297	3,599	8	3,579	4	8	423	×
27	265	3,556	7	3,541	2	6	371	—
28	248	3,917	8	3,902	1	6	332	—
29	227	4,042	7	4,027	1	7	305	—

年次	塩 蔵 品 (つづき)			節 製 品				
	さ ば	さ ん ま	そ の 他	計	か つ お 節	か つ お 節 な ま り 節	さ ば 節	そ の 他 の 類
全 国 H29	37,900	5,925	121,406	81,061	29,240	1,376	11,888	9,633
和歌山 H20	×	—	×	1,742	25	99	79	1,297
21	23	—	400	2,161	15	93	173	1,880
22	×	×	×	2,946	×	×	2,135	696
23	×	×	×	2,578	×	×	1,708	798
24	×	—	×	2,223	×	×	1,334	859
25	×	—	×	2,211	44	43	1,390	661
26	×	—	×	2,212	36	40	1,390	671
27	×	—	×	1,964	35	28	1,251	587
28	×	—	×	1,785	34	22	1,153	513
29	×	—	×	1,359	×	21	850	×

年 次	節製品(つづき)	そ の 他 の 食 用 加 工 品			く ん 製 品	焼・味付のり (千 枚)
	け ず り 節	計	水 産 物 つ く だ 煮	そ の 他		
全 国 H29	28,924	354,266	72,587	281,679	6,335	6,755,532
和歌山 H20	242	932	70	862	ㄨ	20,593
21	—	821	60	761	ㄨ	21,846
22	—	805	55	750	14	22,033
23	—	2,458	52	2,406	30	21,347
24	—	2,367	54	2,313	29	20,830
25	73	2,937	43	2,894	ㄨ	18,563
26	75	2,915	45	2,870	ㄨ	17,124
27	63	3,182	58	3,124	ㄨ	15,488
28	63	3,769	50	3,719	ㄨ	15,531
29	59	4,282	54	4,228	ㄨ	15,964



しらす干し

II 漁業振興施策

漁業振興施策

漁業経営の安定・合理化、漁村環境の整備を推進するため、平成30年度に実施した主要な事業は下記のとおりである。

(1) 磯根漁場再生事業

アワビ、ヒジキ等の磯根漁業の回復を図るため、藻場造成等を11市町において合計事業費1,998万円で実施した。

(2) 漁業経営構造改善事業

冷凍冷蔵施設整備事業を1町において99,046万円で、荷さばき施設整備事業を1市において11,650万円(次年度繰越)で、つきいそ整備事業を1町において558万円で実施した。

(3) 水産基盤整備事業(漁場整備)

水産資源の維持増大、操業の効率化を図るため、表層型浮魚礁設置事業を1地区において26,234万円で、沿岸漁場の生産力回復を図る堆積物除去事業を1地区(2市)において1,916万円で実施した。

(4) 水産基盤整備事業等(漁港整備)

漁港の機能強化、漁村の環境整備を推進するため、漁港整備関係事業を合計事業費29億4,977万円で実施した。

(5) 栽培漁業推進事業等

主要水産資源の増殖を図るため、マダイ22.5万尾、ヒラメ38.9万尾、イサキ27.9万尾、クエ2.3万尾、カサゴ4.3万尾、アワビ類24.6万個を沿岸各地に種苗放流した。

(6) 内水面漁業振興対策事業

内水面漁業の振興を図るため、アユ48.0トン、アマゴ49.9万尾の種苗放流を実施するとともに、主要資源であるアユの自然増殖を促進する産卵場造成事業を実施した。

(7) 金融対策事業

漁業者の設備投資や経営改善を円滑に推進するため、漁業近代化資金について35件、融資額3億4,538万円に対する利子補給を承認した。

(1) 磯根漁場再生事業

平成30年度磯根漁場再生事業

事業主体	事業内容	事業実施主体	工 種	事業費 (千円)
和歌山市	アサリ資源の回復	和歌山市	食害防止ネット設置	3,000
日高町	ナマコ資源の回復	比井崎漁協	着定基質設置等	210
印南町	カジメ・ワカメ・ヒジキ場の造成	紀州日高漁協	母藻移植等	822
みなべ町	ヒロメ場の造成	紀州日高漁協	食害生物駆除等	900
田辺市	ヒジキ・ヒロメ場の造成	新庄漁協	母藻移植等	1,549
	ナマコ資源の回復	和歌山南漁協	着定基質設置等	180
白浜町	クロメ・ヒロメ場の造成	白浜町	母藻移植等	2,300
すさみ町	テングサ場の造成	和歌山南漁協	母藻移植等	375
串本町	ヒロメ場の造成	和歌山東漁協	母藻移植等	1,970
	テングサ場の造成	串本町	母藻移植等	3,100
	ヒジキ場の造成	和歌山東漁協	磯掃除等	900
那智勝浦町	カジメ場の造成	那智勝浦町 水産振興会	海藻種苗設置	1,500
	ヒジキ場の造成	和歌山東漁協	磯掃除等	833
太地町	ヒジキ場の造成	太地町漁協	磯掃除等	397
	アワビ資源の回復	太地町漁協	着定基質設置等	740
新宮市	カジメ場の造成	新宮市	母藻移植等	1,200
合計				19,976



アサリ資源の回復(食害防止ネット設置)



カジメ場の造成(母藻移植)



ヒジキ場の造成(磯掃除)



カジメ場の造成(移植後の生育調査)

(2) 漁業経営構造改善事業

平成30年度水産業強化支援事業等

事業名	事業主体	事業内容	事業費 (千円)
水産業競争力強化緊急施設整備事業	那智勝浦町	冷凍冷蔵施設整備（本体工事）	990,460
	有田市	荷さばき施設整備（調査設計）	116,500 （次年度繰越）
水産業強化支援事業	由良町	つきいそ（投石） 850m ³	5,581
合計			1,112,541

(3) 水産基盤整備事業（漁場整備）

平成30年度水産環境整備事業等

事業名	工種	地区名	事業主体	事業内容	事業費 (千円)
水産環境整備事業	表層型浮魚礁製作 中層型浮魚礁撤去	和歌山南部	県	表層型浮魚礁設置1基 中層型浮魚礁撤去1基	262,339 （一部次年度繰越）
水域環境保全 創造事業	堆積物除去	和歌山北部	和歌山市	掃海 9.9km ²	9,571
			有田市	掃海 11.2km ²	9,588
合計					281,498



つきいそ(投石)



掃海(底曳網漁船による漁場堆積物除去)

漁場整備事業実施状況

区 分	事 業 名	件数	事業費(千円)	備 考
第 1 次 沿 整 (S51～56)	並 型 魚 礁 設 置 事 業	29	180,600	
	大 型 魚 礁 設 置 事 業	4	118,090	
	人 工 礁 漁 場 造 成 事 業	1	460,600	
	幼 稚 仔 保 育 場 造 成 事 業	2	130,000	
	大 規 模 増 殖 場 開 発 事 業	1	400,000	
	漁 場 造 成 事 業	1	328,740	
	浅 海 漁 場 開 発 事 業	1	860,000	沿構から継続
	計	39	2,478,030	
第 2 次 沿 整 (S57～62)	並 型 魚 礁 設 置 事 業	22	164,190	
	大 型 魚 礁 設 置 事 業	4	129,219	
	人 工 礁 漁 場 造 成 事 業	2	621,450	
	幼 稚 仔 保 育 場 造 成 事 業	1	34,190	第1次沿整から継続1件
	小 規 模 増 殖 場 造 成 事 業	4	613,930	
	大 規 模 増 殖 場 造 成 事 業	1	337,000	
	海 域 礁 設 置 事 業	3	1,257,820	
	磯 根 漁 場 造 成 事 業	4	848,300	
	計	41	4,006,099	
第 3 次 沿 整 (S63～H5)	並 型 魚 礁 設 置 事 業	32	322,892	
	大 型 魚 礁 設 置 事 業	8	432,870	
	人 工 礁 漁 場 造 成 事 業	3	781,600	第2次沿整から継続1件
	地 先 型 増 殖 場 造 成 事 業	9	1,191,600	
	広 域 型 増 殖 場 造 成 事 業	2	246,200	
	小 規 模 増 殖 場 造 成 事 業	1	39,210	第2次沿整から継続1件
	大 規 模 増 殖 場 造 成 事 業	1	153,058	第2次沿整から継続1件
	海 域 礁 設 置 事 業	2	808,000	第2次沿整から継続2件
	磯 根 漁 場 造 成 事 業	3	472,780	第2次沿整から継続3件
	小 規 模 漁 場 保 全 事 業	1	10,000	
	計	62	4,458,210	
第 4 次 沿 整 (H6～13)	並 型 魚 礁 設 置 事 業	20	382,880	
	大 型 魚 礁 設 置 事 業	10	525,652	
	人 工 礁 漁 場 造 成 事 業	5	1,999,491	第3次沿整から継続2件
	地 先 型 増 殖 場 造 成 事 業	12	792,790	第3次沿整から継続2件
	広 域 型 増 殖 場 造 成 事 業	1	65,050	
	小 規 模 漁 場 保 全 事 業	8	80,000	
	大 規 模 漁 場 保 全 事 業	1	305,000	
	計	57	4,150,863	

区 分	事 業 名	件数	事業費(千円)	備 考
水産基盤整備 (H14～30)	広 域 漁 場 整 備 事 業	2	447,589	第4次沿整から継続1件
	漁 港 漁 場 機 能 高 度 化 事 業	4	222,966	
	漁 港 漁 場 機 能 高 度 化 統 合 補 助 事 業	3	113,300	第4次沿整から継続1件
	水 域 環 境 保 全 創 造 事 業	12	326,013	
	漁 村 再 生 交 付 金	8	398,267	
	地 域 水 産 物 供 給 基 盤 整 備 事 業	11	505,907	
	水 産 環 境 整 備 事 業	5	1,102,594	
	計	45	3,116,636	

(4) 水産基盤整備事業等（漁港整備）

平成30年度漁港関係整備事業

事業名		港数	事業費（千円）
漁港整備事業	水産流通基盤整備事業	2	1,190,000
	水産物供給基盤機能保全事業	12	415,056
	水産生産基盤整備事業	6	557,040
	漁港施設機能強化事業	3	136,300
	漁港機能増進事業	3	53,978
	漁村再生交付金	1	58,848
	計	27	2,411,222
漁業集落環境整備事業		1	15,202
海岸整備事業	海岸保全施設整備事業	13	106,254
	海岸環境整備事業	1	331,400
	計	14	437,654
漁港維持修繕事業		6	85,700
合 計		47	2,949,778

漁港関係整備事業の概要

事業名	事業の内容	整備できる施設
水産流通基盤整備事業	漁港施設の新設、改良、補修等を行う事業のうち、計画規模が大きい整備	防波堤、護岸、航路、泊地、物揚場、船揚場、道路、用地等
水産物供給基盤機能保全事業	漁港施設の既存ストックの老朽化対策を行う整備	同上
水産生産基盤整備事業	漁港施設の新設、改良、補修等を行う事業のうち、大きな規模の漁港で行う整備	同上
漁港施設機能強化事業	漁港の既存施設の耐震診断・改良を行う整備	防波堤、護岸、物揚場、岸壁、道路、用地等
漁港機能増進事業	漁港のストック効果の最大化を図りつつ、就労環境の改善、安全性の向上及び漁港施設の有効活用等に資する施設の整備を行う事業	省力化・軽労化・就労環境改善施設（岸壁の屋根等）、有効活用促進施設（港内の増養殖施設等）、安全対策向上施設（防潮堤、はしごの設置等）
漁業集落環境整備事業	漁港の背後集落の生活環境の改善を図る事業	漁業集落道、上下水道、緑地、広場、防災安全施設等
海岸保全施設整備事業	高潮・波浪・津波等による被害から、又は、海岸侵食から守るため、漁港内の海岸保全施設の新設・改良を行う事業	堤防、護岸、離岸堤等
海岸環境整備事業	海岸保全施設の整備に併せて、豊かで潤いのある海岸環境の整備を行う事業	緩傾斜護岸、養浜、緑地、広場等
漁港維持修繕事業	漁港施設の小規模な維持修繕を行う事業	防波堤、護岸、航路、泊地、物揚場、船揚場、道路、用地等

(5) 栽培漁業推進事業等

放流実績

(単位：千尾・千個)

年度 魚種	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
マダイ	339	264	257	257	273	271	266	272	265	225
ヒラメ	297	254	275	301	244	272	332	328	208	389
イサキ	343	263	552	473	529	528	466	600	593	279
アワビ類	183	220	215	258	226	367	388	474	504	246
オニオコゼ	48	45	32	79	123	49	98	－	－	－
クエ	7	8	17	52	28	33	51	66	55	23
カサゴ	－	－	－	－	－	－	－	－	77	43



魚類種苗の生産（仔魚へのワムシ給餌）



クロアワビ種苗の生産



放流前ヒラメ稚魚の測定



ヒラメの稚魚放流

(6) 内水面漁業振興対策事業

ア 種苗放流事業実施状況

魚種 \ 年度	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
アユ(kg)	43,295	44,837	48,806	44,649	43,476	42,332	39,372	35,483	45,187	47,970
アマゴ(千尾)	607	629	694	531	447	476	461	436	508	499

イ あゆ産卵場造成事業実施状況

(単位：m²)

漁協 \ 年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
紀ノ川	30,000 (親魚放流300kg)	30,000	60,000 (親魚放流3,093kg)	50,000	50,000	30,000	30,000	30,000 (親魚放流1,500kg)	30,000 (親魚放流250kg)	30,000 (親魚放流50kg)
有田川	12,500	2,800	1,800	2,800	2,700	1,400	1,500	1,600	1,600	1,600
日高川	20,000	20,000	-	400 (親魚放流392kg)	400 (親魚放流840kg)	400 (親魚放流400kg)	400 (親魚放流956kg)	400 (親魚放流1,000kg)	400 (親魚放流1,037kg)	400 (親魚放流991kg)
富田川	1,500 (親魚放流200kg)	1,500 (親魚放流300kg)	1,500	2,400 (親魚放流300kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流200kg)	2,400 (親魚放流200kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流250kg)
日置川	5,472 (親魚放流400kg)	3,000 (親魚放流200kg)	3,000 (親魚放流200kg)	3,000 (親魚放流250kg)	1,200 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	-
計	69,472 (親魚放流900kg)	57,300 (親魚放流500kg)	66,300 (親魚放流3,293kg)	58,600 (親魚放流942kg)	56,700 (親魚放流1,340kg)	37,200 (親魚放流900kg)	37,300 (親魚放流1,406kg)	37,400 (親魚放流2,950kg)	37,400 (親魚放流1,787kg)	34,400 (親魚放流1,291kg)

ウ 内水面漁業振興対策施設整備事業実施状況

実施年度	事業主体	事業内容	事業費(千円)
S57	日高川漁協	アユ種苗生産供給施設 飼育施設 1,482m ² 管理施設 154.5m ²	160,700
S60	日高川漁協	アユ種苗中間育成施設 中間育成水槽 4面 給配水施設 電気設備	31,246
H7	日高川漁協	アユ種苗生産供給施設 飼育棟 978m ² 機械棟 35m ²	148,452
H11	日高川漁協	アマゴ種苗生産供給施設 飼育棟 151.5m ² 飼育水槽 23個 魚病防疫検査施設 検査棟 107m ² 生物実験機器一式	78,138
H17	日高川漁協	海水取水施設 取水井戸 300mm×15m 取水槽 9.0m ³ 取水ポンプ 濾過装置 車輻等消毒防疫施設 消毒ゲート設備、防風壁、靴替え室、場内器具等消毒通路	6,688
H23	日高川漁協	水産物加工処理施設 1F 219m ² 2F 129m ² 加工場、冷凍庫、冷風乾燥機、商品開発・研修室	104,680

(7) 金融対策事業

平成30年度貸付実績

(単位：千円)

		漁船 建造等	その他 個人施設	共同利用 施設	漁業振興 資金	経営改善			生活改善	青年漁業者 養成確保	合 計
						省力化 機器	省エネ 機器	その他	住居改善	漁業開始	
漁業近代 化資金	件数	24	2	9							35
	金額	134,520	67,990	142,870							345,380

主要制度資金の貸付実績

(単位：千円)

年 度	漁業近代化資金		漁業経営維持安定資金		漁業経営再建資金		沿岸漁業改善資金	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
S63	130	812,310					123	129,773
H元	126	871,560	7	155,000	1	131,600	129	142,715
2	105	731,510					101	125,287
3	112	742,620					127	141,465
4	100	797,808					143	142,406
5	105	901,838					150	160,000
6	102	962,186					123	193,000
7	101	764,366			1	100,000	107	238,943
8	101	736,403					87	232,183
9	94	791,782					77	254,349
10	98	797,470					67	254,100
11	67	515,990					39	149,799
12	57	540,538					55	213,075
13	38	408,084					38	100,475
14	29	407,390					16	62,130
15	30	401,560					12	15,295
16	16	200,220					16	68,421
17	38	241,290					7	34,926
18	8	26,530					5	12,868
19	37	115,960					4	4,350
20	76	327,750					4	2,340
21	16	231,070					3	1,759
22	10	107,480					2	8,800
23	21	422,550					1	930
24	8	43,300					1	20,000
25	105	322,320					2	5,200
26	61	264,960					4	17,470
27	22	82,240					3	2,187
28	23	76,530					1	1,080
29	27	256,560					0	0
30	35	345,380					0	0

※平成17年度から漁業近代化資金には漁業振興資金を含む

(8) プレミア和歌山認定品

和歌山県では、安全・安心を基本に、幅広い分野で優れた県産品を“和歌山らしさ”、“和歌山ならではの”の視点で推奨する「和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）推奨制度」を制定しています。



生鮮水産物

平成20年度

しょうさん鯉
紀州勝浦産生まぐろ
紀州梅まだい(養殖)

平成21年度

加太のマダイ
紀州紀ノ太刀
すさみケンケン鯉
紀州梅くえ(養殖)
紀州梅本マグロ(養殖)
大瀬戸の真鯛(養殖)
大瀬戸の本九絵(養殖)

平成22年度

加太のタコ
戸坂のハモ
辰ヶ鰯
紀州ひろめ
紀州ひろめ(養殖)
よしだ本鮓(養殖)

平成23年度

丈右衛門の鮎(養殖)

平成24年度

紀州仕立て鮎(養殖)

平成30年度

さくらびんちょう



紀州仕立て鮎(養殖)



加太のマダイ

魚介類の水産加工品

平成20年度	10品目
平成21年度	5品目
平成22年度	9品目
平成23年度	13品目
平成24年度	8品目
平成25年度	11品目
平成26年度	3品目
平成27年度	4品目
平成28年度	4品目
平成29年度	16品目
平成30年度	3品目



紀州紀ノ太刀

海藻類の水産加工品

平成20年度	1品目
平成23年度	2品目
平成24年度	1品目
平成27年度	5品目
平成30年度	4品目

蒲鉾類

平成20年度	5品目
平成21年度	3品目
平成27年度	2品目
平成28年度	1品目



紀州ひろめ



さくらびんちょう

(9) 魚食普及・漁業体験交流活動

漁協女性部や県漁連、漁業士連絡協議会、各漁協、市町などが連携して実践



「魚の骨を知って楽しくおいしく食べよう」出張講座



漁業士連絡協議会による魚食普及活動



漁協女性部による郷土料理の提供



漁業士連絡協議会によるタッチプール



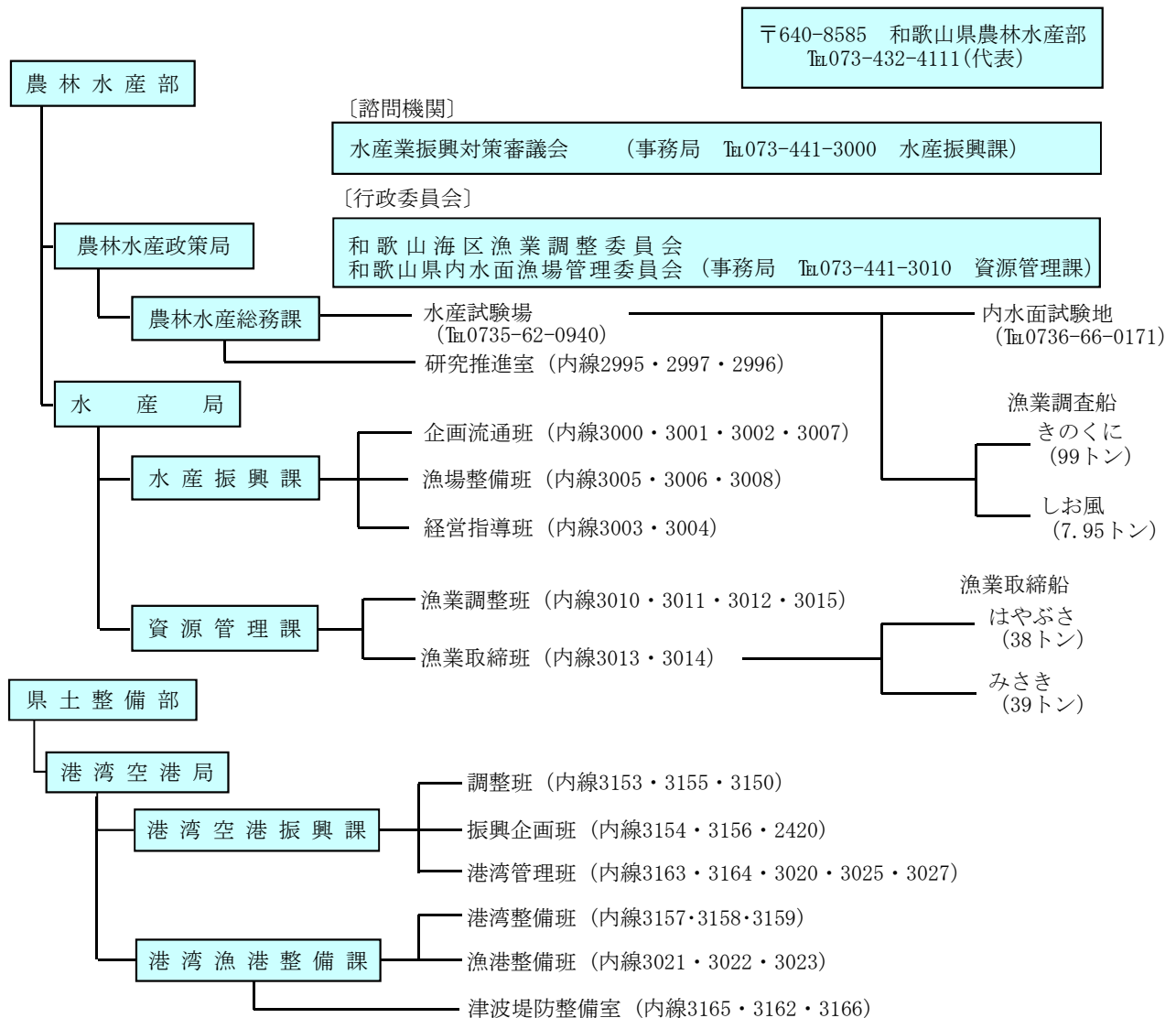
チリメンモンスター探し



漁港見学

III 組 織 等

(1) 和歌山県水産行政機構



〔出先機関〕

海草振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL073-441-3385
有田振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0737-64-1273
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0737-64-1284
	工務課	河港グループ	TEL0737-64-1272
日高振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0738-24-2946
	管理・保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0738-24-2931
	河港課	港湾・漁港グループ	TEL0738-24-2968
西牟婁振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0739-22-1443
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0739-26-7949
	工務課	河港グループ	TEL0739-26-7925
東牟婁振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0735-29-2011
	串本建設部管理保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0735-62-0755
	串本建設部工務課	河港グループ	TEL0735-62-0755
	新宮建設部管理保全課	管理グループ、保全グループ	TEL0735-21-9654
	新宮建設部工務課	港湾・漁港グループ	TEL0735-21-9625
那賀振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0736-61-0025
伊都振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	TEL0736-33-4930
和歌山下津港湾事務所	総務管理課・工務課		TEL073-431-7266

(公財) 和歌山県栽培漁業協会 (事務局 TEL073-459-1225)
 (北部栽培漁業センター ")
 (南部栽培漁業センター TEL0735-67-7770)

(2) 水産関係予算（当初予算）

（単位：千円）

科目		年度	H22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
水産局	水産業総務費		1,188,300	1,164,045	1,156,744	1,147,680	1,150,071	437,995	439,123	474,717	475,153	475,683
	水産業振興費		103,449	123,301	89,804	90,565	156,926	84,279	80,181	101,457	107,508	122,565
	水産業協同組合指導費		8,016	7,002	22,509	19,816	18,869	14,511	13,919	7,757	1,683	1,136
	漁業調整費		41,805	49,442	49,976	32,216	34,291	34,208	25,430	17,660	17,553	17,273
	漁業取締費		24,680	67,842	112,241	77,641	96,959	256,727	351,033	121,081	49,215	83,636
	漁業構造改善費		239,697	257,843	198,020	310,541	302,891	331,293	375,096	381,235	926,384	636,537
	試験場費（水産試験場）		343,334	326,603	332,419	323,654	303,887	302,832	269,789	266,124	307,688	842,700
	計		1,949,281	1,996,078	1,961,713	2,002,113	2,063,894	1,461,845	1,554,571	1,370,031	1,885,184	2,179,530
港湾空港局	水産業総務費		72,977	65,432	92,685	74,464	80,181	85,372	84,335	63,790	61,872	67,432
	漁港管理費		16,817	22,910	22,815	23,284	21,755	25,639	26,275	25,206	24,283	23,607
	漁港建設費		2,132,460	2,407,360	2,006,474	1,955,835	1,985,382	1,999,755	2,366,026	1,917,817	1,712,891	1,413,552
	漁港施設災害復旧費		125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	297,150
	計		2,347,654	2,621,102	2,247,374	2,178,983	2,212,718	2,236,166	2,602,036	2,132,213	1,924,446	1,801,741
合 計			4,296,935	4,617,180	4,209,087	4,181,096	4,276,612	3,698,011	4,156,607	3,502,244	3,809,630	3,981,271
沿岸漁業改善資金特別会計			402,719	103,146	102,649	102,413	102,380	102,333	102,225	102,155	160,687	96,361



調査船「きのくに」平成8年11月竣工
総トン数99トン

(3) 水産団体

ア 漁業協同組合等の概況

(ア) 海面漁業協同組合

(平成29年度会計)

組 合 名		組 合 員			理事	監事	職員	電 話	出資金 (千円)	販売事業 取扱高 (千円)	製氷冷蔵 取扱高 (千円)	漁業自営 販売高 (千円)
		正 (人)	准 (人)	計 (人)								
和歌山市 海南市	加 太	91	6	97	7	3	4	073-459-0062	187,000	209,818	1,530	0
	西 脇	26	28	54	5	2	0	073-455-1832	834	56,709	192	0
	雑賀崎	63	2	65	7	2	4	073-444-2282	28,008	293,418	3,526	0
	和歌山北	45	46	91	6	2	1	073-444-0867	21,574	0	1,337	0
	和歌浦	28	7	35	5	2	0	073-445-1621	3,150	51,880	2,520	0
	海南市	68	101	169	9	3	0	073-492-2117	6,712	63,548	0	0
有田市	有田箕島	459	122	581	19	5	8	0737-83-5555	81,995	1,556,357	36,029	5
有田郡	湯浅湾	140	236	376	12	3	6	0737-62-4581	69,875	385,597	11,585	0
御坊市 日高郡	紀州日高	418	1,108	1,526	12	3	18	0738-22-0451	368,166	1,099,908	49,913	3,757
	由良町	30	49	79	5	2	6	0738-65-1025	14,728	351	3,687	1,662
	比井崎	84	439	523	6	2	5	0738-64-2231	93,984	98,225	22,470	1,459
	三 尾	31	192	223	5	2	2	0738-62-2201	34,275	115,252	909	3,716
田辺市 西牟婁郡	和歌山南	357	380	737	9	3	26	0739-22-8520	141,698	901,315	60,289	285,318
	新 庄	43	310	353	6	2	1	0739-22-2057	7,413	1,515	0	3,702
	堅 田	137	11	148	9	3	191	0739-42-3347	29,050	0	0	730,840
東牟婁郡	和歌山東	499	1,410	1,909	12	3	42	0735-62-0080	319,502	1,095,792	932,057	50,266
	太地町	140	218	358	6	3	19	0735-59-2340	13,177	297,418	56,625	73,196
	紀州勝浦	52	24	76	5	2	0	0735-52-0951	12,800	0	0	0
	宇久井	44	36	80	6	3	5	0735-54-0008	37,005	498,604	6,302	402,564
新宮市	三輪崎	31	16	47	5	2	1	0735-31-7019	16,090	76,878	3,210	0
	新 宮	44	25	69	6	2	1	0735-22-8622	600	50,291	0	0
合 計		2,830	4,766	7,596	162	54	340		1,487,636	6,852,876	1,192,181	1,556,485

(イ) 内水面漁業協同組合

(平成29年度会計)

組 合 名	組 合 員			理 事	監 事	職 員	電 話	出資金	放流量(30年度)	
	正	准	計						アユ	アマゴ
	人	人	人	人	人	人		千円	kg	尾
玉 川	205	39	244	13	3	1	0736-54-4640	488	1,503	26,400
紀ノ川	406	116	522	15	3	3	0736-66-9111	9,985	5,148	14,000
貴志川	88	664	752	19	2	1	073-495-2114	3,122	840	4,000
有田川	705	0	705	5	2	1	0737-52-4863	3,525	5,509	50,000
日高川	914	0	914	12	3	0	0738-52-0224	73,120	10,680	108,000
切目川	209	0	209	6	2	0	0738-45-0032	209	160	—
南部川	60	129	189	6	2	0	0739-33-7506	189	50	—
富田川	82	23	105	7	3	0	0739-47-0710	1,230	1,300	22,572
日置川	312	55	367	13	3	1	0739-53-0023	1,101	4,180	60,000
古座川	392	149	541	7	3	1	0735-72-3800	1,114	1,500	21,700
七 川	71	77	148	7	2	0	0735-77-0063	740	600	20,000
太田川	189	0	189	13	3	0	0735-58-0010	945	400	—
熊野川	1,252	0	1,252	13	3	0	0735-21-4193	1,252	16,100	172,000
合 計	4,885	1,252	6,137	136	34	8		97,020	47,970	498,672

(ウ) 水産加工業協同組合

(平成29年度会計)

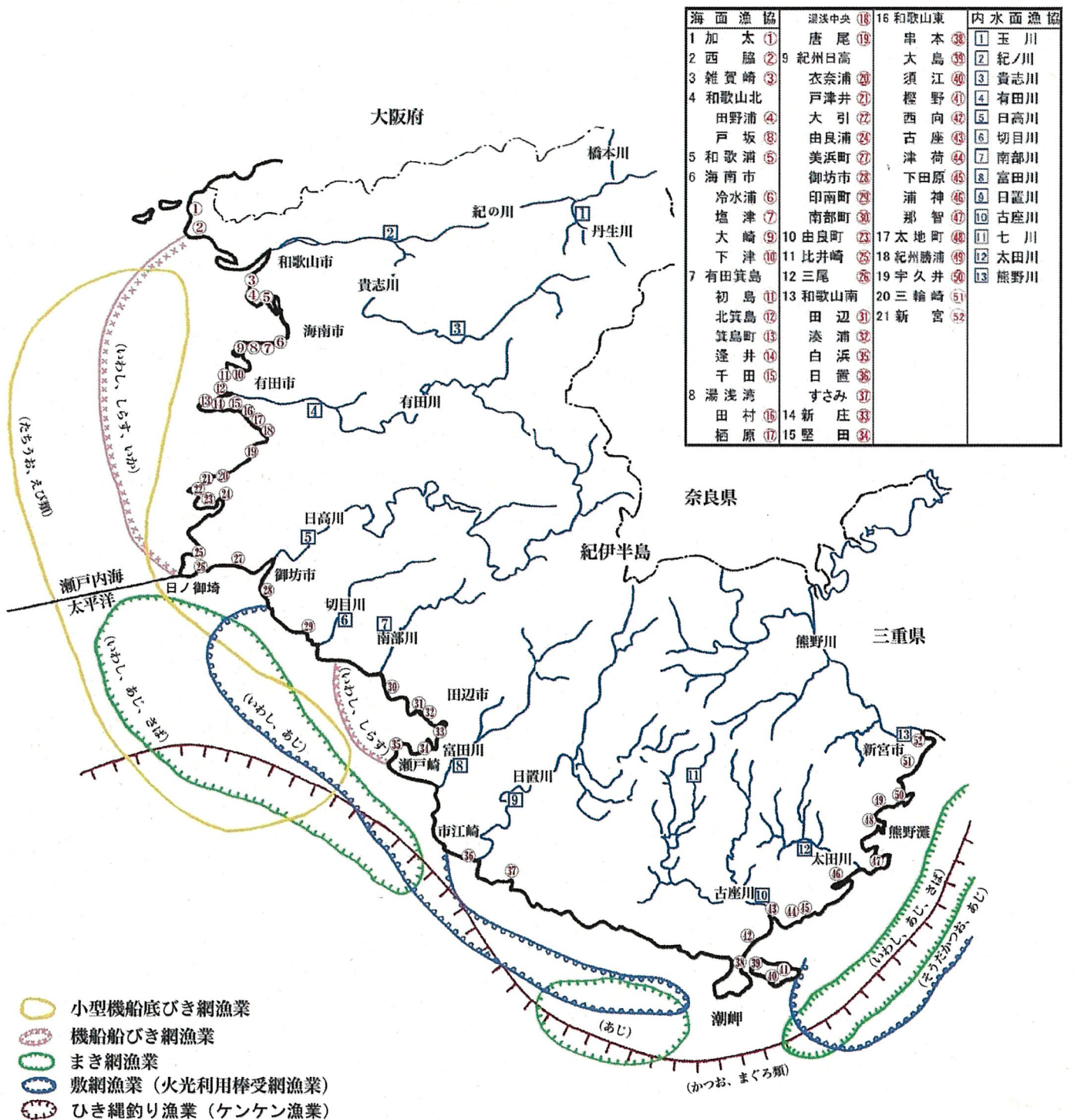
組 合 名	組 合 員			理事	監事	職員	電話番号	所 在 地	出資金
	正	准	計						
和歌山県水産加工業協同組合	19	0	19	6	2	0	0737-63-4690	〒643-0005 有田郡湯浅町大字栖原805	千円 2,520

イ 漁業関係連合会等

(平成31年4月1日現在)

団 体 名	郵便番号	所 在 地	代 表 者	電 話 番 号
和歌山県漁業協同組合連合会	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁30 水産会館内	代表理事会長 木 下 吉 雄	073-431-5101
和歌山県内水面漁業協同組合連合会	649-6112	紀の川市桃山町調月32-3 内水面試験地内	代表理事会長 大 杉 達	0736-66-0477
全国漁業信用基金協会 和歌山支所	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁30 水産会館内	理 事 嶋 田 栄 人	073-432-4800
日本漁船保険組合 和歌山県支所			支 所 長 濱 端 一 生	073-422-8883
全国合同漁業共済組合 大阪・和歌山事務所			所 長 海 野 三代治	073-433-3470
(一社)和歌山県漁業相互共済会			会 長 理 事 森 口 康 弘	
全国共済水産業協同組合連合会 和歌山県事務所			所 長 高 崎 一 郎	073-428-2363
(公財)和歌山県栽培漁業協会	640-0103	和歌山市加太1767-1	理 事 長 木 下 吉 雄	073-459-1225
なぎさ信用漁業協同組合連合会 和歌山営業本部	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁33	本 部 長 濱 村 規 弘	073-432-0761

和歌山県の漁場概念図



私たちの暮らしをうるおす魚介類は このような漁法でとられています。

和歌山県は、紀伊半島の西部に位置しています。四国との間に、魚の宝庫といわれる紀伊水道をはさみ、昔から海と大きなかかわりを持ってきました。

本県の海域は、比較的穏やかな内海性の瀬戸内海、黒潮の影響を強く受ける外洋性の太平洋に分けられ、それぞれの海域の特性に合わせ、様々な種類の漁業が行われています。

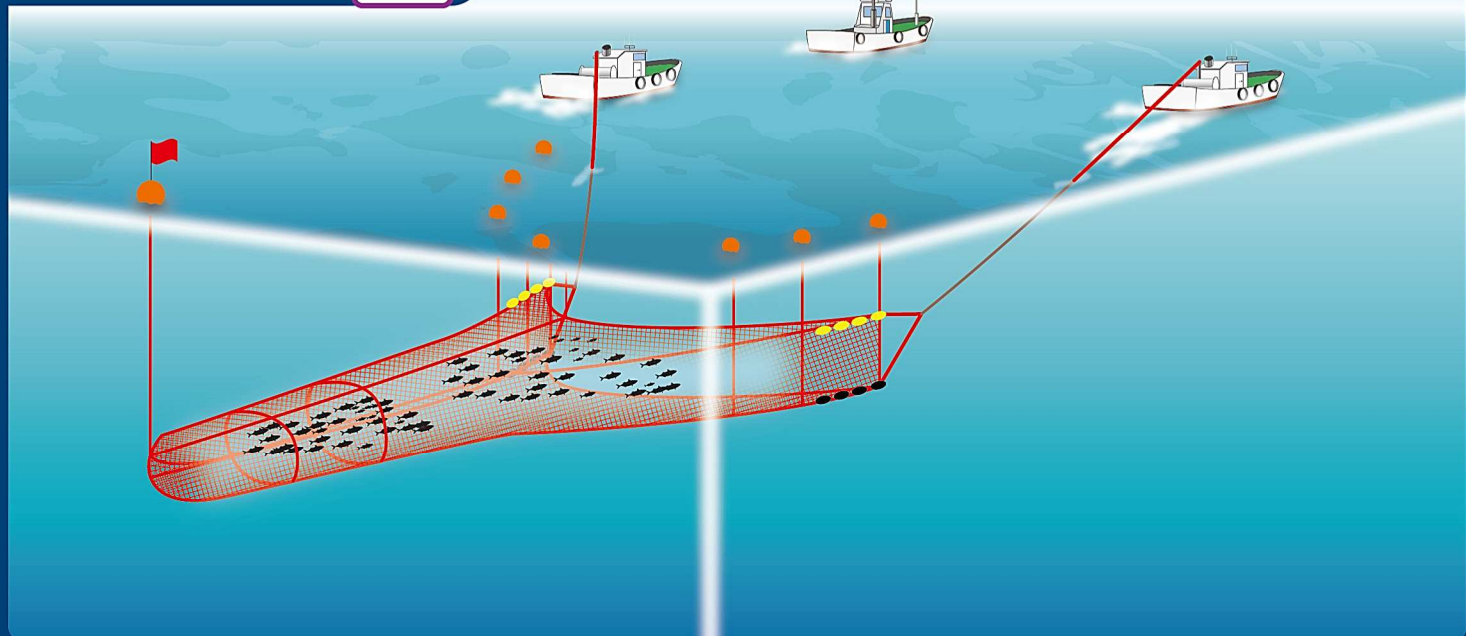
瀬戸内海海域では、一本釣り漁業、小型機

船底びき網漁業、機船船びき網漁業などが行われています。

また、太平洋海域では、ひき縄釣り漁業、はえ縄漁業、一本釣り漁業のほか、まき網漁業、定置網漁業、敷網漁業、刺網漁業などが行われています。

普段、私たちが食べている魚がどのようにして獲られているのか、みんなで一緒にふりかえってみましょう。

機船船びき網漁業



概要

袋状の網を船でひいて魚を獲る漁法です。

2隻の網船と魚探船(運搬船)の計3隻の船で漁を行います。

漁法の説明

- 1、魚探船が魚の群れを探します。
- 2、魚の群れを見つけると、2隻の網船が魚の群れに向かって網をひきます。
- 3、網をひく時間は通常、1時間～1.5時間です。

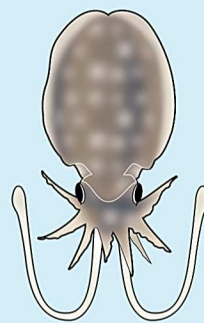
漁期

周年(盛漁期 春、秋)

漁獲物

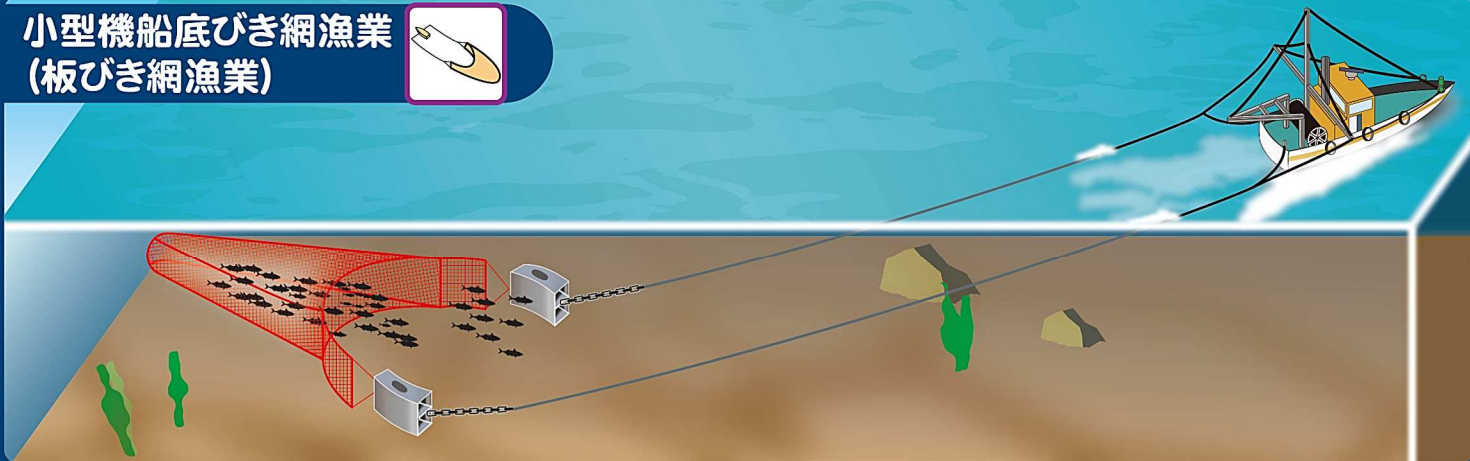


シラス



シリヤケイカ

小型機船底びき網漁業 (板びき網漁業)



概要

網の口を広げるための「開口板」をつけた袋状の網を船でひき、海底にいる魚を獲る漁法です。

漁法の説明

- 1、船の後ろから網を海に投げ入れます。
- 2、魚の群れを探しながら、網をひきます。
- 3、網をひく時間は約1時間です。
- 4、昼間に操業する場合は、午前4時頃に出港して、午後5時頃に帰港します。

※夜間に操業する場合は、午後2時頃に出港して翌日の午前3時頃に帰港します。

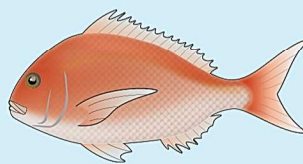
漁期

周年

漁獲物



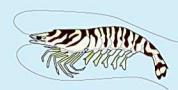
タチウオ



マダイ

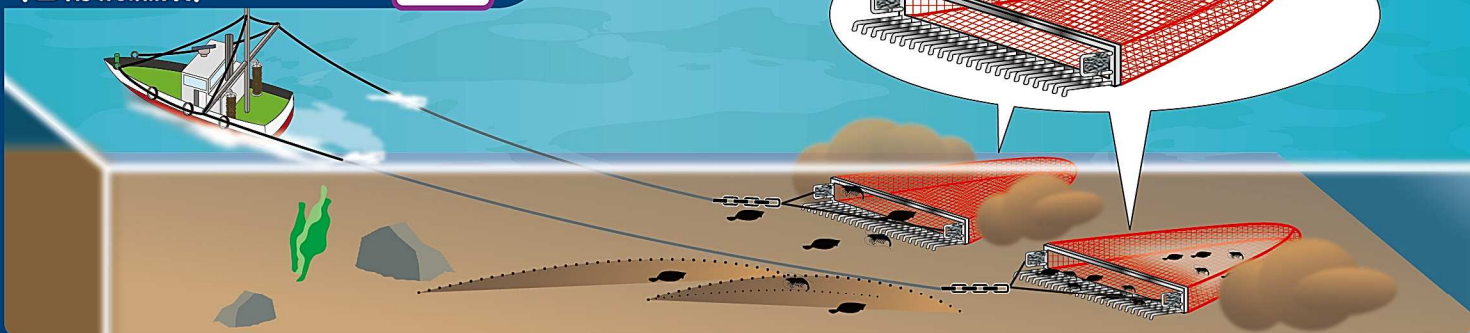


ハモ



エビ類

小型機船底びき網漁業 (石柵網漁業)



概要

鉄の柵と石のおもりをつけた袋状の網を海に沈め、船でひき、海底をかきおこして魚を獲る漁法です。

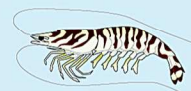
漁法の説明

- 1、鉄の柵をつけた網を海底に沈め、ワイヤーでひきます。
- 2、鉄柵の下側についた鉄の爪が海底をかきおこし、エビやカレイなどをとります。
- 3、網をひく時間は約45分です。

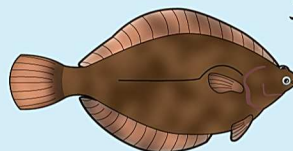
漁期

9月～翌年5月

漁獲物



エビ類

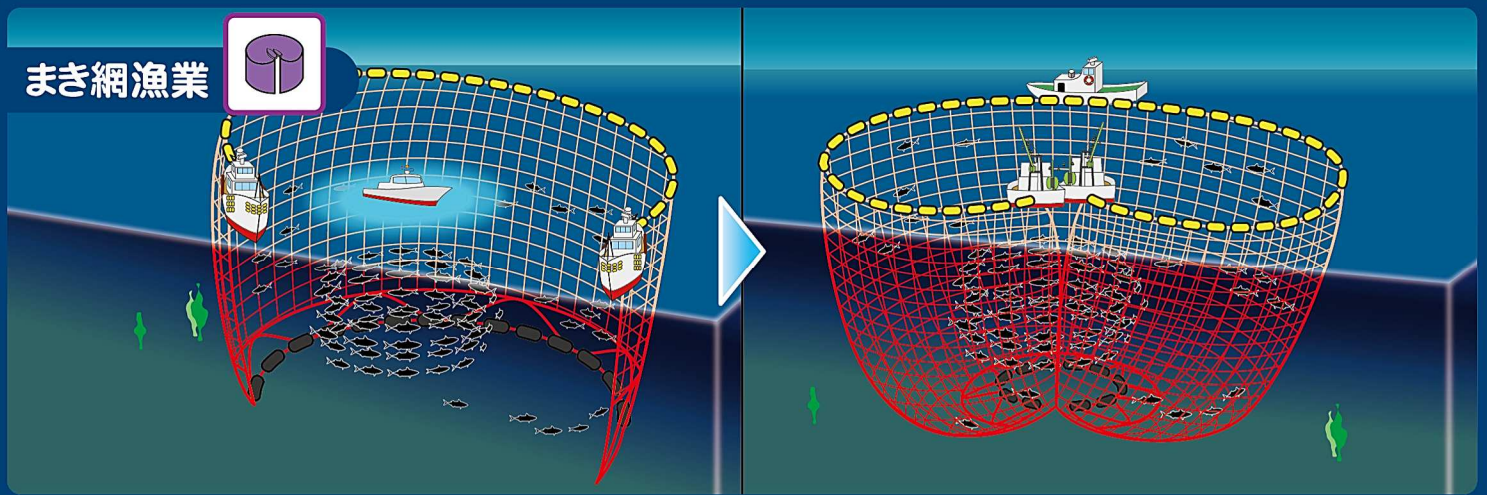


カレイ



アカシタビラメ

まき網漁業



概要

あかりで集めた魚の群れを網で取り囲み、魚を獲る漁法で、網船、魚探船（灯船）、運搬船など4～7隻で船団を組んで漁を行います。

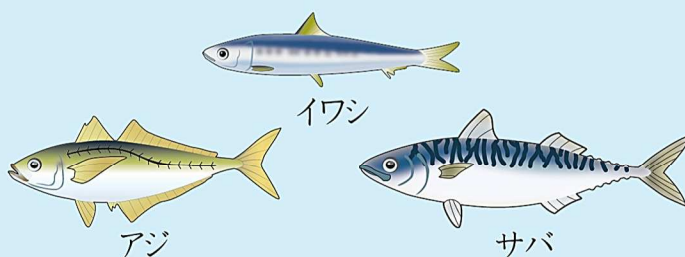
漁法の説明

- 1、魚探船が魚の群れを探し、あかりで魚を集めます。
- 2、網船は網で魚の群れを取り囲み、網の下部を巾着のようにしばってあげます。
- 3、魚を運搬船に積み、港へ運びます。

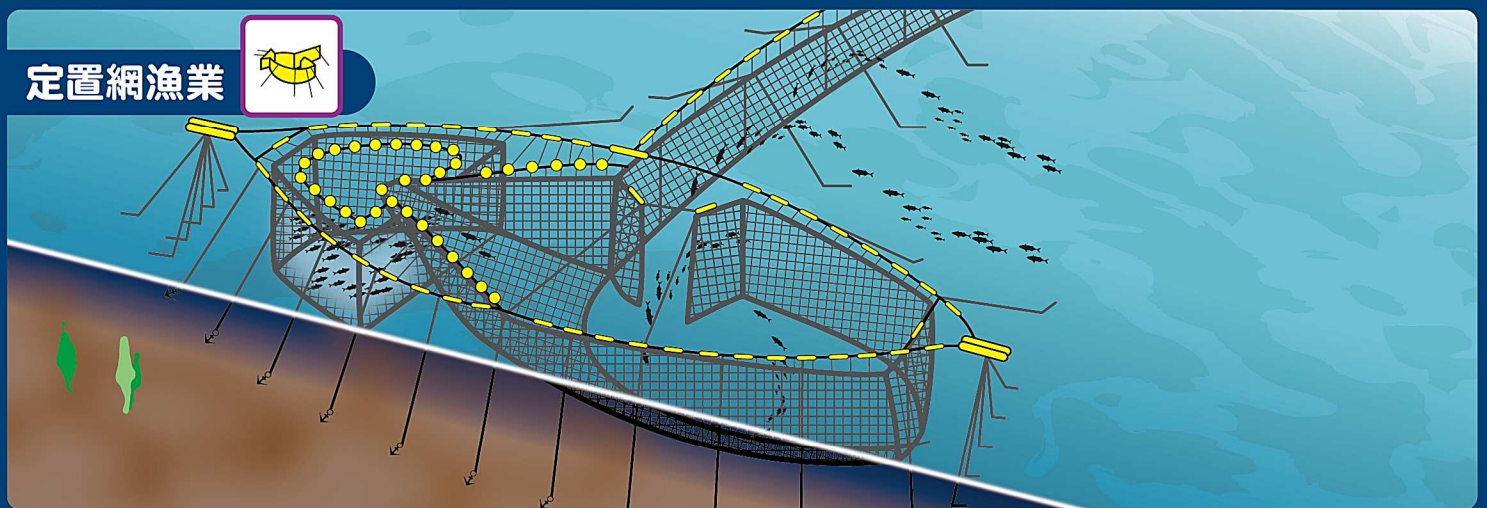
漁期

周年（盛漁期3月～10月）

漁獲物



定置網漁業



概要

魚の通り道に大型の網を設置し、魚を誘導して獲る漁法です。

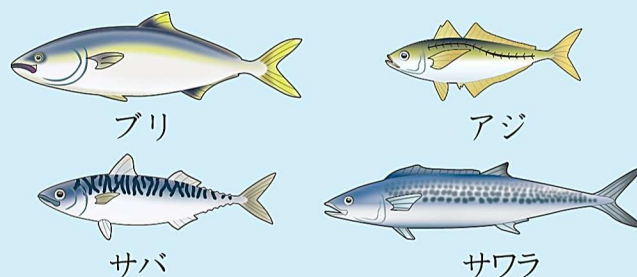
漁法の説明

- 1、海に網を設置し、魚が入るのを待ちます。
- 2、垣網に沿って魚群が沖側の囲網（運動場）に誘導され、登網（のりあみ）を通して箱網（はこあみ）に落ちます。
- 3、通常、朝夕2回、網をあげます。

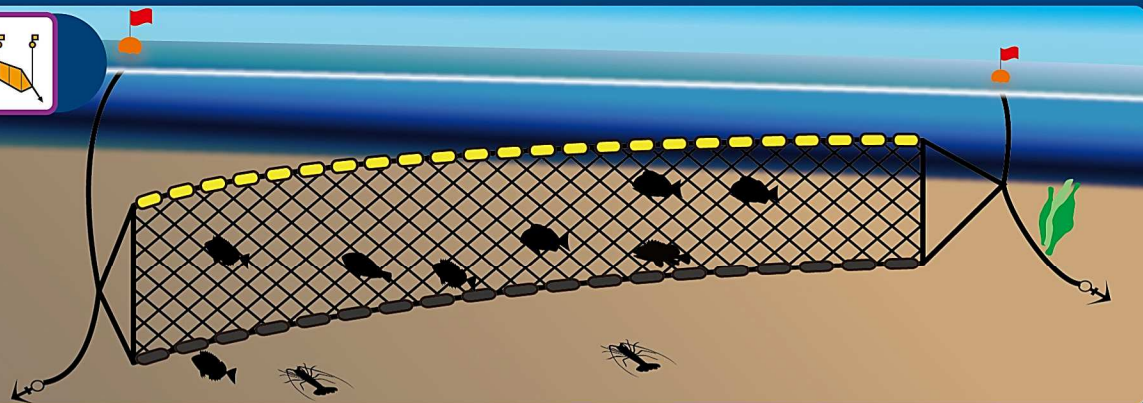
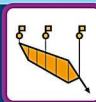
漁期

周年

漁獲物



さしあみ
刺網漁業
(固定式刺網漁業)



概要

めあひ
目合の異なる網地を2～3枚重ねた網を魚の通り道に仕掛け、魚を絡ませて獲る漁法です。

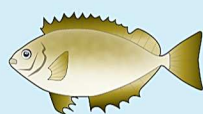
漁法の説明

- 1、岩場へゆっくり船を進め、網を繰り出します。
- 2、夕方までに網を仕掛け、翌朝にひきあげます。

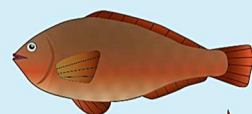
漁期

9月～翌年4月

漁獲物



アイゴ



ブダイ



メジナ

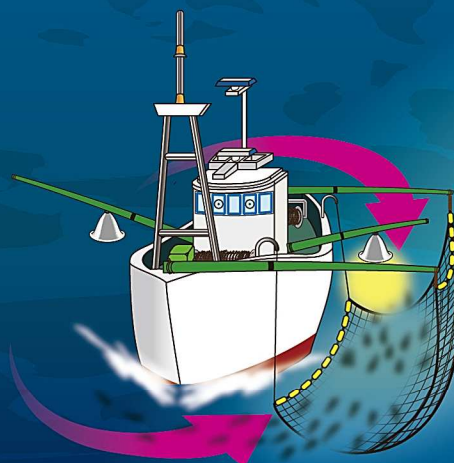


カサゴ



イセエビ

しきあみ
敷網漁業
(火光利用棒受網漁業)



概要

あか
灯りで魚の群れを網の上に誘い、魚をすくい取る漁法です。

漁法の説明

- 1、あか
灯りで魚を集めます。
- 2、魚が集まっている場所の反対側に網をはります。
- 3、あか
灯りを網側に移し、魚を網の中へ移動させます。
- 4、網をすくいあげます。

漁期

4月～11月(盛漁期7月～10月)

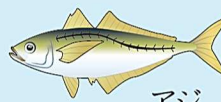
漁獲物



ソウダガツオ



イワシ



アジ



サバ

ひき縄釣り漁業 (ケンケン魚)



概要

船を走らせながら、餌にみせかけた擬餌針をつけた釣糸を複数ひいて、魚を獲る漁法です。
擬餌針を魚の遊泳層まで沈めるために、潜航板を使用します。

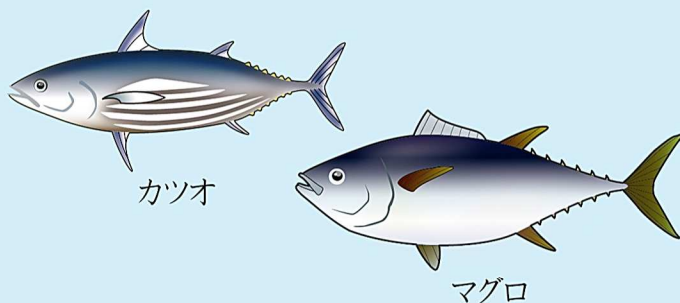
漁法の説明

- 1、1本のサオに1～3本の釣糸をつけ、船を走らせながら釣糸をひいて釣ります。
- 2、魚がかかると潜航板が反転して水面上に浮き上がるので、釣糸をたぐって魚を獲ります。

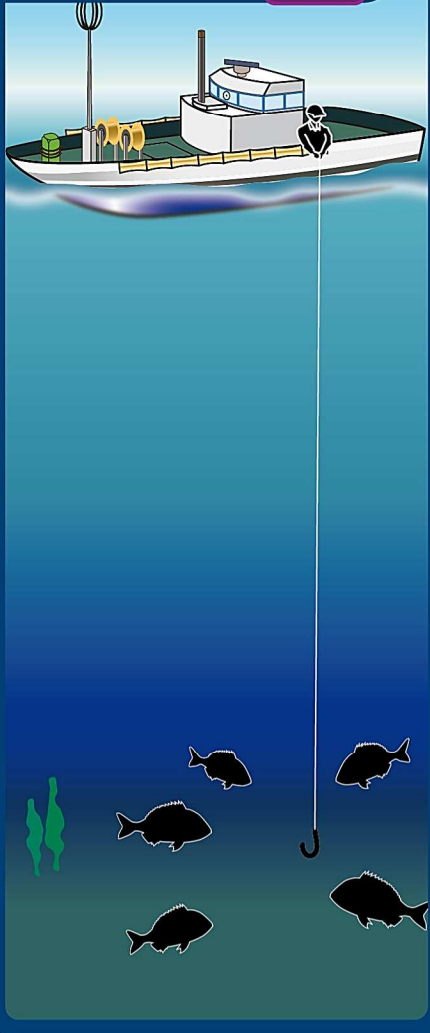
漁期

カツオ 2月～5月
マグロ 1月～3月

漁獲物



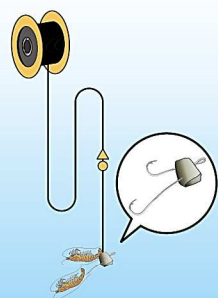
一本釣り漁業



概要

対象魚の遊泳層に合わせて釣針をおろし、魚を釣り上げる漁法です。

タイ一本釣り (カブラ釣り)



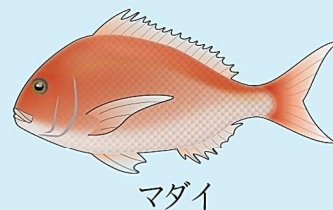
漁法の説明

- 1、餌(生きたエビ等)をつけた釣針を海底までおろします。
- 2、タイの泳いでいる深さに釣針をおろし釣り上げます。

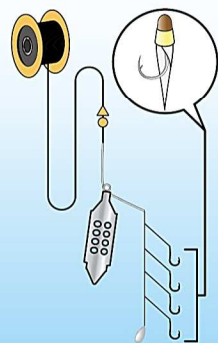
漁期

春、秋

漁獲物



アジ・イサキ 一本釣り



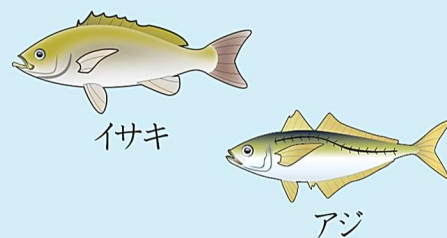
漁法の説明

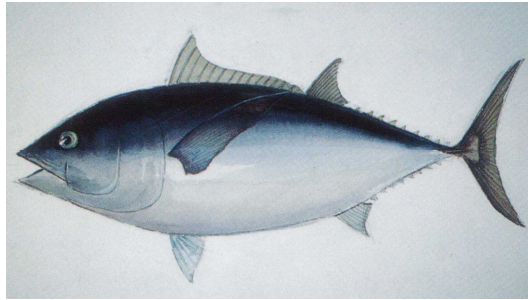
- 1、魚を集める餌をカゴに入れ水中でまきます。
- 2、餌にみせかけた擬餌針で魚を誘い釣りあげます。

漁期

周年

漁獲物





県の魚「まぐろ」
(昭和62年制定)

(令和元年6月発行)